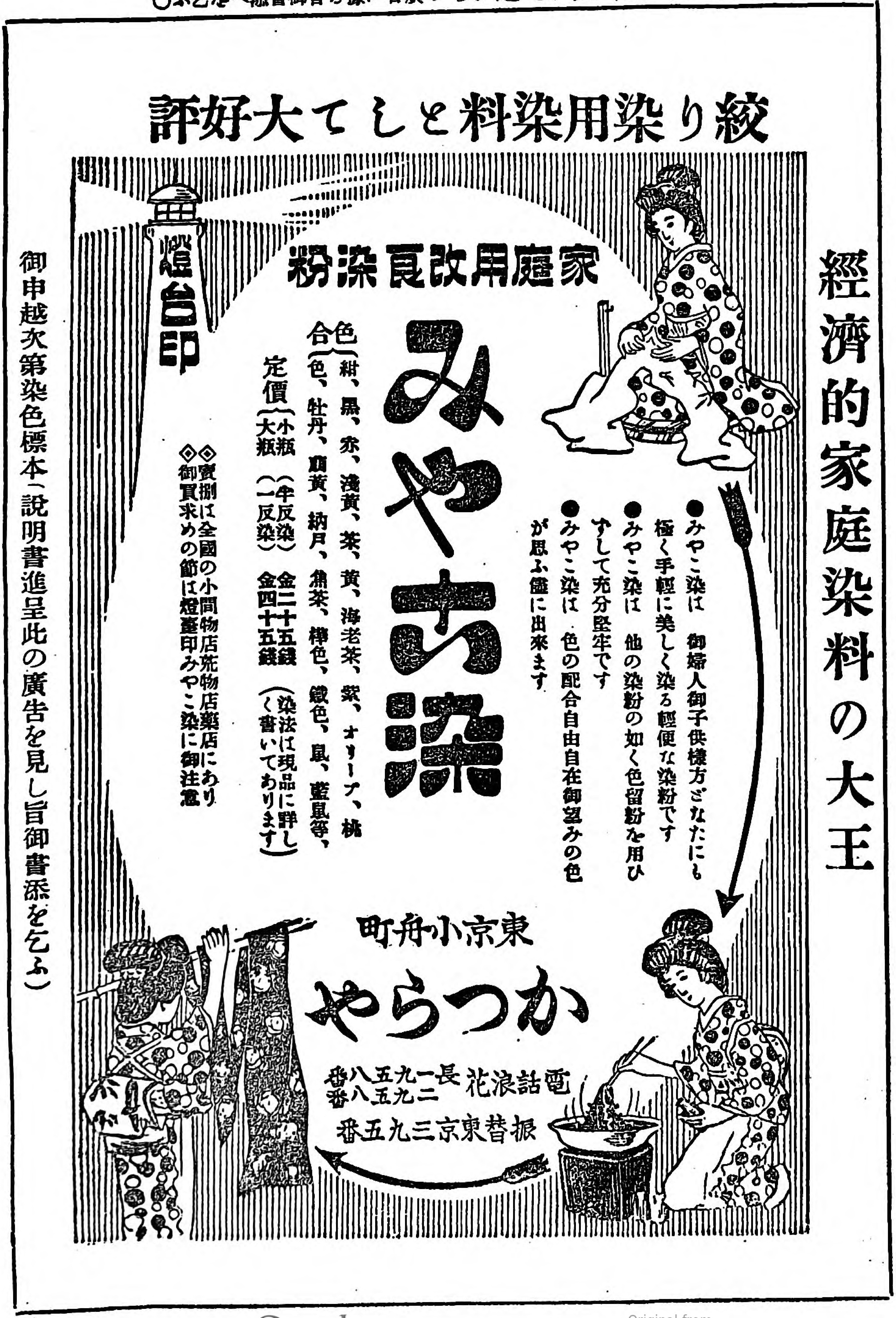
處女の友

大正九年四月廿八日印刷納本 大正七年十一月二十五日第三種郵便物認可
大正九年五月一日發行（毎月一回一日發行）

五月
3巻5号

第三巻 處女會中央部發行 第五號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

皇后宮大夫男爵 大森鍾一閣下序文

處女會中央部理事 天野藤男先生著

‖全國到處發賣‖

地方の婦人へ

中版最新式裝幀
定價金壹圓五拾錢
郵送料十二錢

『處女の友』の主幹天野先生が地方婦人の爲にかゝれました最新の著書で、どこをみても先生の溫い情愛と熱烈な精神がみちみちてゐます。この一冊をよく味はれゝば地方婦人は迷ふことはありません。口語體ですら〳〵とかいてありますので、誰にもわかります。

重な目次の一部

○お金持のお孃さんと田舍の娘さん○仕合せと不仕合せは心の持ちやう○人の願ひはたゞ一つ○姉さん冠りの田舍貴婦人○花も散り込む月もさす○何事も自然が氣樂○娘のお酌でもう一ぱい○臺所の上を汽車が通る○美しい處女の心○強く優しくまじめに働け○最後の勝利はまじめ○感心な婦人の話○この姉にしてこの弟○出稼ぎとお嫁入り○工場と處女會との連絡○工場から故里の處女會へ○故里を戀ふ娘○どうしても家に居られません○處女會の内部○女學校と處女會○金田村の處女會○處女の座右の銘○漁村の處女會○目ざましい人命救助○優しい海女の涙○明月の夜の盆踊○處女の角力とり○貴き汗と血と涙○田植する女學校○生み立ての卵の御馳走○風流の心○外は柔らかく心は強く○山里の娘さんへ○あなたの手に赤い血が○貴婦人の下落○小作の娘と姉妹になつて○是からの地主の奥さん○よく見よく聞きよく話せ○心の目と心の耳○巡禮姿の旅人○處女會設置標準○處女會の歌

東京神田區表神保町三 株式會社 日新閣 電話九段一三九三番 振替東京一二三九一番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

第三卷 第五號

處女の友

五月號目次

○表紙 野の幸……田代紫光筆

○口繪 地方婦人界の活動……

◬記事

▽卷頭 心の美人……一

▽旅であつた二人の娘の哀話……理事 天野藤男……二

▽境遇に甘んずる者は幸福……理事 山脇房子……八

▽公德心に就て……伯爵 二荒芳德……一〇

▽六十一町村揃て處女會を興す……一三

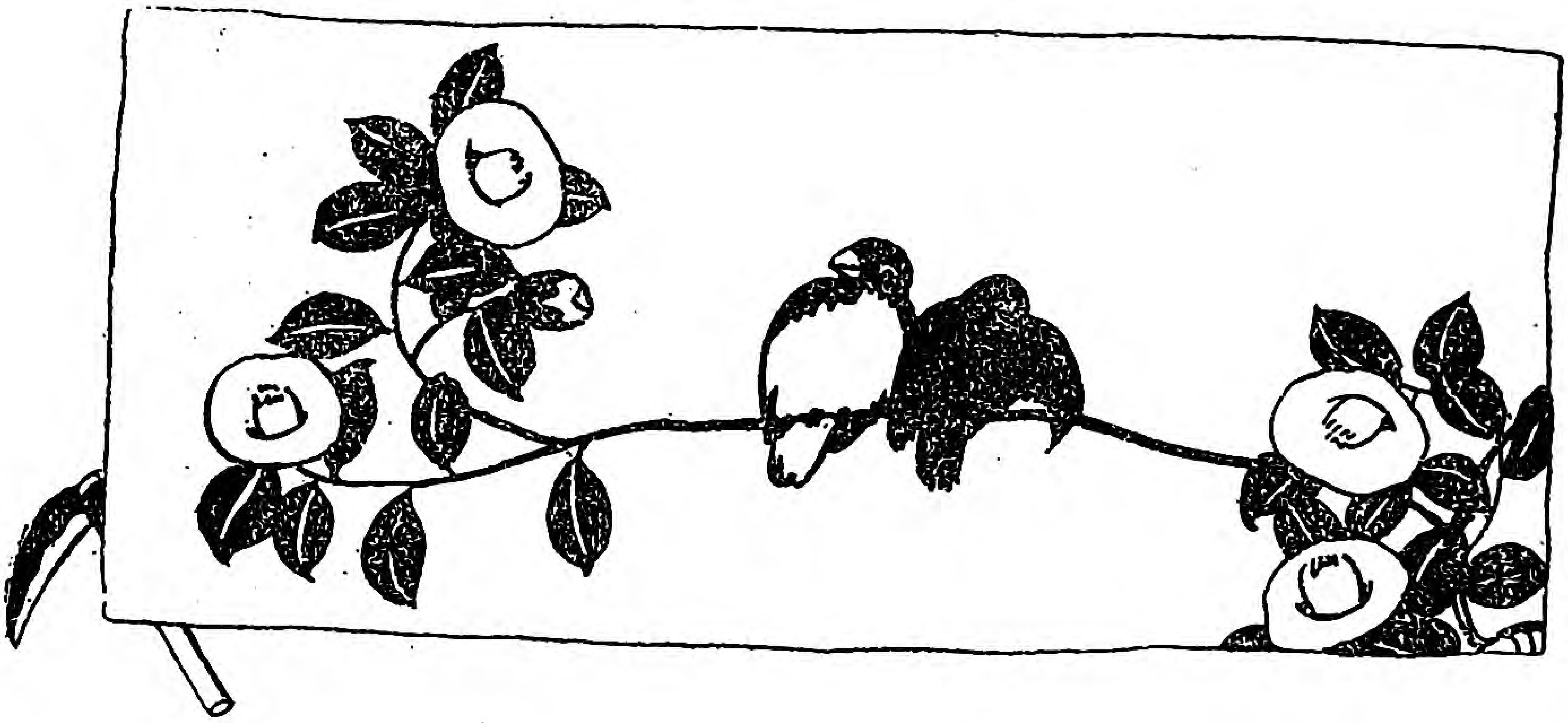
▽少々茅少女の話……橘八重……一五

▽修身歌がるた（下）……島根縣那賀郡伊南村處女會……一八

▽孝行娘の納豆賣……三

▽處女會の敬老會……三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN



▽都にあこがれて（其の八）……白雲作……二五
▽みなさんの歌をみて……三一
▽赤い煉瓦の工場より……富士瓦斯紡績會社保土ヶ谷工場 田中みどり……三七
▽工場よりふる里に歸りて……岐阜縣吉城郡小鷹利村 野田あや……三八
▽鄙ぶり……梅の舍主人……四〇
▽俚諺のわけ……天保老人……四〇
▽私の望み一つ……滋賀 藤井まつ……四一
▽地方處女會だより……四二
一 七寶婦人會の歌……徳島縣名東郡 山崎伊三郎
二 處女會成立……栃木縣安蘇郡 鈴木清太郎
三 處女會の常識試問……福島縣東白川郡 竹貫村處女會
四 郡處女會規約……福井縣大飯郡 小辻郡視學
▽全國處女會一覽（續）……四八
▽描かれた娘（其四）……天野雄彦……五〇
▽誌友くらぶ……五四
▽編輯だより……五六

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女之友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

前共立女子職業學校教師 遠藤鋌子 高田久子 共著

新編裁縫全書 上巻（着物の巻）

和装菊判美製
金貳圓參拾錢
郵税金十二錢

最新刊

新らしく生れ出でた此裁縫書は從來からある多くの書よりも勝れて居ることは申すまでもありません。本書は多年教授上の經驗と其の技に實地熟達せられし兩著者が如何なる初心者にも手に取る如く分り易き樣に苦心を重ね、あくまで丁寧と親切を以て說かれ、其上に圖は現寸を比例して縮め、一目の下に解りよくなし、又圖を度るに重寶な尺度付の拔折とも添へ尙卷末には特に參考の部を設けて、最新の研究に係るものを配載し、時勢に後れぬことを期してあります。裁縫を學ぶ方々は本書によりて初めて滿足な上達が出來ることを疑ひません、婦人、令孃、學生、諸姉の良師に又教授者の參考に一本を備へられんことを望みます。

東京市日本橋區通一丁目 大倉書店 振替口座東京二三八番

目ざめつゝある婦人界

和歌山縣伊都郡高野村高根婦人會

愛媛縣喜多郡河邊村處女會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

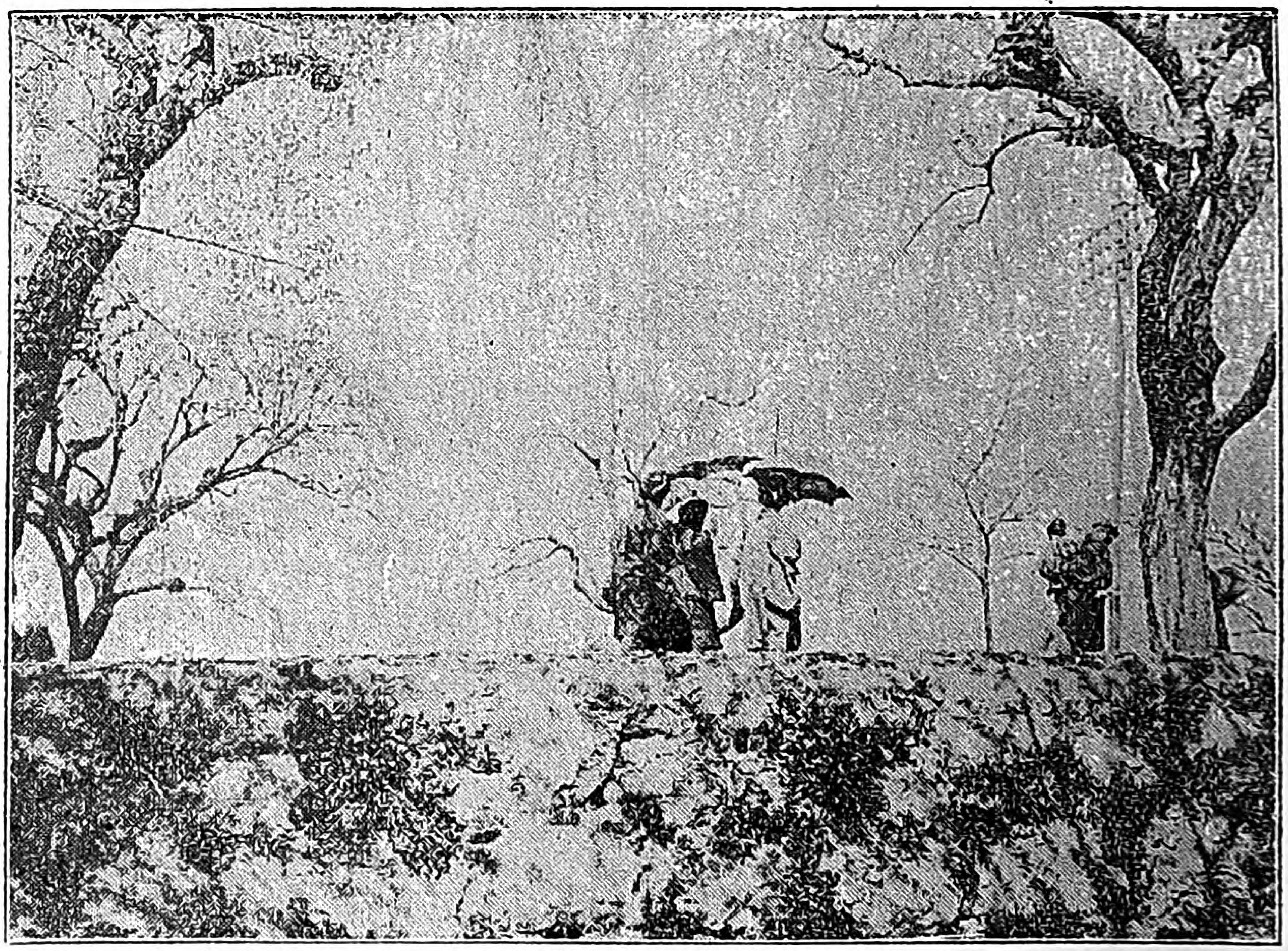
ほまれの玉簪と記念の鏡

静岡縣濱名郡吉野村處女會が模範の處女に玉簪をあげてゐる所、壇上は北村村長であります。

福島縣安達郡戸澤村處女會員がお嫁にゆく時會長さんから鏡をいたゞいてゐる所であります。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN



心の美人

きりようのよい女でも、嫌にすましたり、ツンとしたりしてゐて、人になつかしみを與へぬ女がございます。顔かたちは、それほどでもなくも、どこかに、品があり、あいけふがあつて、なつかしみを感じさせる女もございます。其がほんとうの美人だらうと思ひます。女らしいといふことは、只言葉少くなに、うつむいて内輪に歩るくことをいふのではありません。あいけふ即ち優しみが溢れて、夫を慰さめ、兄を勵まし、わが家を愉快にしてこそ、始めて眞の女らしさを感じますあの新柳が春風になよ〳〵となびくところ、いかにも弱々しいが、あれでどこかに引き締つた所がありますす人によい感じを與へるといふこと、是が一種の道徳です。男も女もさうなくてはなりませんが、別して女は男に對し、否人類のすべてに對し、淸く美しい熱と愛をさゝげて世界を淨化するようにあつて欲しいと思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

旅であつた二人の娘の哀話

＝都にあこがれて家出した娘と語る＝

天野藤男

（一）お給仕に出た娘

先頃福島縣のある郡の青年大會に招かれひと晩郡長さんや郡視學を始め村長さんや校長殿と、晩のごはんをたべながら、青年會や處女會のお話をとり交しました。

その時御給仕に出ました十八九位な娘がございます人ずれない、初生な様子が目につきました。美人といふのではありませんがどこかに上品な所がございます。この邊の宿は料理屋と旅館とを兼ねて居ります。こういふ所にゐる女にしては、なんといふをとなしい子でせうと思ひながら、お酌もして貰ひ、お給仕もして貰ひました。

すると、もう一人お銚子のお代りもつて來たり、お

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

肴を運んだりして、ちよい〳〵顔をみせる小柄な女がございます。矢張十八九になりませうか、お白粉を塗つてゐますが、色が黒い上にそれがよく顏に乘らないのでをかしうございます。

『みねさん、へいもつて來ました』

『きみさん、お氣の毒、へいありがたう』

二人はいかにも仲がよささうでございます。

（二）　秋田の田舍から

若い娘でこうした酌婦になるにはいろ〳〵の事情もありませう。一圖に墮落の果と思ふのは、娘の心を知らぬことです。親を思ふて淚をのんでの稼ぎもありませう。よしない男の爲に、人の爲に賣られて來た氣の毒な娘もありませう。と思ふと、今の二人の身の上が心にかゝつてなりません。

お客さんは歸つてしまひました。郡長さんたちは、となりの部屋に戾られました。わたしは、欄にもたれつゝいろ〳〵のことを考へました。おぼろ月夜の靜かな町の夜景は、大へん趣深くあります。欄のすぐ下をきれいな川が流れてゐます。三味流しながら旅の藝人が通るのも、旅の心を動かします。

『お疲れで厶いませう床のべませうか』

ふりかへると、さきほどお酌に出た女でございます

『あゝ姐さん、ではとつて貰ひませうか』

姐さんは、お茶など片づけ始めました。みればみるほどをとなしさうな婦人です。きつと田舍娘にちがひない何か譯があるかも知れぬと考へましたので、

『姐さんどこ』

はにかんでゐましたが、再三きゝますと、秋田の生れださうです。言葉が大へん妙でありましたが、さてごんな風だつたか、今はよく覺えて居りませんが、その訛り言葉でそれからわたしに、いろ〳〵身の上話しをしてくれました。

（三）　汽車で知り合つた深切な人

みね子は、わたしの思つた通り、まだ此處へ來たば

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

しはこの娘のゆく先きが案じられてなりません。さりとてこの場合どうすることも出來ませんので、くれぐ＼も、心を清く、堅くすること、そして早く兩親にたよりをすること、詫びが叶つたら早く故里に歸ることを言ひふくめました。

あまり長い話しをして、妙に思はれても氣の毒と、わたしは枕につきましたが、山又山を越えて、人知らぬ里にこうして悶えてゐる二人の娘のことが心にかゝりよう眠られません。『決して〳〵操は』と誓つても、惡魔の誘惑はあの小娘にふりかゝるにきまつてゐる。涙をのんでゐる中には、もう良心もなくなる、恐ろしい、今は大事な時だ。大事な時だ。

（五）死んでもいゝわ

尾籠なお話しですが、夜中にわたしは憚りへ入つてゐました、騷々しかつた宿もしんかんとして、谷川の流れがかすかに聞えるばかりです。

すると、スッスッといふ足音が聞えまして、其が便所の前で止まりました。便所の前に顏洗ふ所がありました、小窓がついてゐます。誰か忍んで來たわいと耳を欹てゝゐますと、ひそ〳〵と女同志が話してゐます。わたしがこゝにゐようとはツユ知りません。

『それでねわたしはもうどうしようかと齒を食ひしばつたのよ、そして憚りへゆくといつて來たのよ、みねちやん悲しいわ』

『きみちやん、もう死んでもいゝわ、どこかへゆきませうか、わたし少しもねられないわ、いろ〳〵のこと考へて』

『こんなことならなぜ家に居なかつたでせうねえ』

暫らく話しがとだえてゐる樣子、その中しく〳〵とすゝりなく聲が致します。二人は抱き合つて泣き合つてゐるらしいのです。

わたしは、とび出したかつたのですが、今までだまつてゐて、今おどろかしてもいけないと考へて、ヂッとしてゐました。二人はそれから十分間ばかり、小さい聲でひそ〳〵と話し合つてゐましたが、こんどは

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

何んのことかよくわかりませんでしたが、とき〴〵の話しに、

『きみちやん、きつとよく〳〵、わたしもきつと誓ふからね』

『一所よ、ほんとう、決して〳〵ウソいふものですか』

などいふ聲が聞えます。

それから尚しばらくさゝやき合つてゐましたが、その中二人はそつと足音を忍ばせて、あちらへいつてしまひました。

(六) ほんとうに大事な時

翌くる朝みね子は、爽やかな顔をして來ました。

『晝間働くから夜疲れてよく〳〵ねむるだらうね』

ときくと、唯笑つてゐます。其の中ごはんもすみ支度も出來ましたから、わたしは郡長さんたちと別の方面へ出發致すことになりました。それにしても、あの二人の身の上はどうなるでせう、花の盛りには、雨風が多い。どうぞ神様よ、あの純な二人の娘を御守り下さいませ。

わたくしは、郡長さんによく二人のことをお頼みして參りました。是がほんとうの處女會の指導です。あの二人の娘が正しく伸びるか、清い母となるか、墮落するかといふことは、ほんとうに大きなことでございます。それと共にわたしは、田舍娘のあてどもない家出の恐ろしい實例を目の前にみていろ〳〵のことを感じました。

皆さん、この話はつくり話でもなんでもありませんありのまゝのお話でございます。こんど上野停車場に人事相談所が出來まして、地方から憧れ出る娘たちのお世話をして下さるさうですが、憧れて出ることが既によくないことです。私は地方の娘さん達が箇人として又團體としてもつと〳〵自覺して少くとも皆様の里からは一人もこういふ家出娘のないやうにして欲しいと思ひます。その代り自覺した娘の健全な都市は集注は寧ろ歡迎致します。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

境遇に甘んずる者は幸福

山脇高等女學校長
本會理事　山脇房子

人には、生れながら富貴の者もあり、貧しい者もあります。健康なものもあり、多病で弱いものもあります。頭腦のよく働く賢い人もあれば、低能白痴に生れ付いたものもあります。即ち貴賤、貧富、賢愚といふもの、或る程度までは生れながら定まつて居て、自分の力でどうすることも出來ないものであります。ですから、もし人の幸福といふものが、富貴の身分の人にだけあるものであつたら、世の中は誠に不公平なものと申さなければなりませんが、そんな事は決してありませんで、幸福は誰にでも得られるやうになつて居ります。

○

食物の味といふものは、食物にあるのでなくて自分の舌にあるのだと、誰方かのお話にありましたが、成程その通りで、同じ御馳走でも、お腹の空いて居る時にいたゞくのと、一杯の時に口にするのとは、味が大變にちがひます。病氣して居る時など、どんなに旨しい食物でも旨しいと味はふことは出來ませぬ。幸福もそれと同じで、お金だの、衣服だの、身分だのにあるのでなくて、皆その人その人の心にあるのであります縮緬の衣服を着て居ても幸福と感じない人もあれば、手織木綿のゴツ〳〵したのを着て居ても、幸福を感謝する人があります。つまり心の持ち方一つで、どんな身分の低い人でも幸福を感ずることが出來ますし、どんなに結構な家に生れた人でも、自分は不幸だと思ふものであります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○

私の知つて居る一人の少女は、或る豪家の一人娘ですが、兩親がそれは〱可愛がつて、他にも多勢召使がありますのに、その娘さんのために特に一人の女中を附切にして世話させ、衣服を脱げば疊んでやる、學校行の時間になれば道具を揃へてやる、欲しいといふ物はどんなに高價なものでも買つてあてがひ、いつぞやも、まだ彈けもしないのに、欲しがるからといふので千圓もするピアノを買つておやりになりました。そんなにして貰ひましても、少女は嬉しいと思はず、どうも家にはお友達がなくて淋しいから寄宿舍へ入れてくれと言ひ出し、とう〱或る女學校の寄宿舍へはいりました。ところが、今までは縱の物を横にもせず、据膳お給仕で御飯をいたゞいて居た習慣がありますので、規律の正しい、萬事自治的になつて居る寄宿舍生活には堪へられず、それに其の少女の我儘勝手が他の生徒には迷惑になりますので、誰一人心からのお友達になつてくれず、多勢の人と起臥を共にして居ながらやはり孤獨の淋しい生活を送らなければならないのでした。でやつぱり家の方がよいと申して、又家へ歸りましたが、それでもまだ罪が自分にある事は氣がつかず、私はどうして斯うお友達がないのだらう、私は不仕合だと言つて、不愉快に其日々々を暮らして居ます。是などは、幸福が物になるのでなく、身分や境遇にあるのでなく、心の持ち方にあるのだといふよい一例だと存じます。

○

西洋の格言に、幸福を他に求めるのは我が影を追ふやうなものだといふ意味の語がございます。自分の影を踏まうとして追つかけますと、驅ければ驅けるほど影に驅けて逃げて行きます。けれども、一度自分が踏み止まれば、影に亦チヤンと止まります。今日の境遇に甘んじて心を落ちつけ、反省し修養しますると、そのまゝで其處に幸福が湧いて來ます。幸福は我が心の中にあるのですから、それを他に求めやうとして無益に勞せぬやうになさいませ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

公德心について

宮内省參事官
伯爵 二荒芳德

一 うちとけない風がある

日本人が歐米人に比して公德心が乏しいといふことは、よく聞くことでございますし、私も之は爭ふべからざる事實であらうと思ひます。もしさうとすれば何故日本人はこの點に於て、歐米人に劣るかといふ事實を考へてみることが大切であります。

第一私は封建時代の遺風が公德心を失はせたのであると考へて居ります。御承知の通り、各藩が互に睨み合ひの時代には各々の屬する藩以外の者に對しては、少からぬ警戒心を持つて居り、あの男は肥前者だとか筑前者だとか申して區別して打解けない傾が大變あつた樣に思つて居ります。劍術柔術の奥の手などは勿論他藩の者などには浮と敎へるようなことはございません。

二 兩方でにらみ合

勿論此の氣風の旺な時代に於ても、各藩同士の禮儀などは丁重なものでありましたらうけれども、夫れよりは矢張兩方で力み合つてをる傾がはげしかつたらうと存じます。各藩睨らみ合つた結果は小さい自分といふものにはかりこだはり、廣い心持がもたれません。常に分捕的精神を以て人に接し、事に臨んで居たのでございます。公園の花を折つたり、村の腕白者が石塔など倒したりするのは、惡るいことであるといふことより、寧ろ侵略的氣分若は豪勇的氣分でやるのではな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

いかと存じます。過去の時代に養はれた此の樣な偏狹な精神は餘程細心な注意をしなければなりません。

三　四角張つて陣取る

英吉利の街中や電車汽車の中では、お互によく流り合ひ又扶け合つて何んとも言へぬ床しい氣分を感じます。荷物を持つた人が汽車の客車に入つてくればきつと誰かゞ手傳つて荷棚の上に上げてやります。老幼婦女が乘りますればよくいたはります。席なども客のある毎にお互が詰め合つて新しく乘つた人に腰をかけさせます。これが日本などでは群雄割據の小縮圖とても申しませうか、皆がお互に四角張つて陣取つて居ります。どうしても感心出來ません。

西洋の處女

わたしさくら花大好き

四　「氣をつけやがれ」

私はこんなことも日本人が本來に公德心がないのではなく、五十年前迄は駕籠で東海道を歩るいた連中の子孫なので、汽車といふ長いつながつた車で澤山が旅行するのに馴れてゐませんので、心丈はまだ駕籠に乘つた氣の人が多いからだらうと存じます。駕舁は二人で之を雲助と申して、脊の高い男が二人で擔いだと申すことでありますから、その氣風が殘つてをつて、人の荷物を手傳つて荷物棚に載せてやる事も昔の雲助のやることだから位に考へて知ら

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

ぬ顔の半兵衛さんをきめ込むのですとも存じます。日本の電車の中で職人の足でも過つて踏みましやうものなら、

『をい、氣を付けやがれ、江戸つ子の突つかけ草履が見えねえのか、べらぼう奴』

位のことは言はれないとも限りません。江戸つ子は五月の鯉の吹き流しとか申しますから、踏んだ人がお詫する前に、いゝたんかを切られてしまひます。處が之が英吉利になりますと、お氣の毒樣(アイアムソーリー)、御免下さい(アイベックユーワパードン)、とか申しますれば、踏まれた方でも『いゝえ』(オーライト)とか或は時によりますと、出してゐた方で惡かつたといふ樣な意味で、向ふから『お氣の毒』(アイアムソーリー)と申すことも少くありません日本ももう開國以來五十年も經ちましたのですから、もう少し公用の物を公的に用ふるようにしたいと存じます。

五 「いゝわ立つてゐるから」

一寸この序に申したいのは、新らしく乘つたお客が假令先きのお客が席を讓つてくれても『ありがとう』とも申さず、腰をかける人も澤山あります。又座席を少し詰めて貰へば、腰が掛かるのに、大きな荷物を持つて少し詰めて頂きますとも言はず『詰めて下さらないなら妾いゝわ、立つてゐるわ』といふような顔をして立つてゐる御婦人方もあるのは矢張電車汽車を公的に使はない人と申してよいと存じます。

次に東京の交通機關は實に不完備だと存じますこれは道の幅の狹いのも理由の一つでせうが、大概は革に捉つてゆゝのが原則です、從つて少しお客の込み合ふ時刻になれば車掌臺に飛び乘りの藝當を演ずる事が餘義なくなります。これは公衆の心持にどれだけ惡い影響を及ぼすか測り知れません、いくら社會で公德心の養成を叫んでも、公德心を傷ふ樣に設備が不完全ですから是では困ると思ひます、朝の八時頃夕の五時頃血眼になつて電車に飛び乘る市民の顔付をごらんなさい是では大東京の面目がどこにありませう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

六十一町村揃つて處女會を興す

―埼玉縣入間郡校長七十七人會合協議―

埼玉縣入間郡には六十一町村ありまして、日本でも大きな郡でありますが、今回郡では、全町村に處女會を作ることになり、三月七日にその相談會が開かれました。郡長は村松武美氏で若い法學士であります。

當日校長七十七人が川越町の郡役所に集りましたが遠き所は十里もあるさうです。わたくしは處女會の歴史から事績、工場處女會、海女の話など四時間に渉つてお話しを致しました。尤も六十一の町村中半分はもう處女會が出來てゐるのです。今回郡で定めました處女會の準則をあげませう。

○處女會々則　準則

第一條　本會は何々村(町)處女會と稱す

第二條　本會は女子の智徳を涵養し併せて女子に必要なる技藝を練習し以て良妻賢母たるの素養を得しむるを目的とす

第三條　本會の事務所は何々に置く

(第三條の一本會は各大字(又は何々)に支部を設け何々支部と稱し其事務所を何々に置く)

第四條　本會は第三條の目的を遂する爲めに左の事業を行ふ

一、修養に關する各種の講話會幷に講習會

二、學術の補習

三、技藝の練習

四、新聞雜誌の講讀

五、其他

第五條　本會員は現に本町(村)に居住し年齢十二年以上の女子たるべし但學籍に在る者は之を除外することを得

第六條　本會々員を左の二種に分つ

一、正會員　本町(村)に居住する未婚の女子

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

二、名譽會員　本會に對し功勞ありたる者
第七條　入退會及部屬變更は毎年小學校卒業式當日に於て行ふを常例とす
第八條　學識名望ある者及本會に對し功勞あるものは本會の顧問又は贊助員に推薦することあるべし
第九條　本會に左の役員を置く

一會　長　一　名
二副會長　一　名(二名)
三評議員　若干名
四幹　事　若干名

第十條　會長副會長は町村長又は小學校長其他名望家中より評議員會の決議に依り之を推薦す
評議員は會員の互選とし其任期を二箇年とす幹事は會の内外より會長之を囑託す
第十一條　會長は會務を總理し會を代表す
副會長は會長を輔佐し會長事故あるときは其職務を代理す

小金井のさくら

幹事は會長の指揮を受け庶務に從事す
評議員は會長の諮問に應じ若くは會務に關し意見を述ぶることを得
第十一條の一　各支部に支部長及支部副長を置く
支部長及支部副長に關しては前三條の規定を準用す但支部長は會長之を囑託す
第十二條　本會は毎年一回定期總會を開く但必要に應じ臨時總會を開くことあるべし
(支部に於ては必要に應じて部會を開く)
第十三條　本會の經費は財產より生ずる收入及有志の寄附金及び會員の納むる會費を以て之を支辨す
第十四條　本會の會計は毎年一回會員に報告するものとす
第十五條　本會施行上必要なる事項は細則を以て之を定む

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

少々茅少女の話

橘八重

＊

允恭天皇の御代、都遠く思立たれて淡路の島に御獵い御催しがありました。召し集められた獵人共は、天晴拔群の技倆をあらはして御感賞にあづからむものと我がちに馳せ參じて、弓矢の用意に怠りありません。陛下は、たくましき馬にまたがらせられ、御脇には大身(容の大きいこと)の槍をかいこんで、勇ましい御いでたちであります。從ひまつる臣達も、いづれもたくましき壯夫、兎一疋もぬけ出づる隙はあるまいと思はれました。

遠近から集つた數千の獵人は、すはこそとどよめいて來ました。鬨の聲は盛に起り、四方にこだまして、淡路の島も崩れんばかりのかしましさ。今日の獲物はどんなに澤山のことゝ「誰も〳〵勇みたつてゐました。

＊

かうして逃げまどふ獸をおひまはしてゐる中に、やがて日は高く昇り、正午ちかくにもなりましたけれどどんなに澤山あらうと思つてゐた獲物は更にありません。獸は相變らず、谷から谷へ、枝から枝へとにげまはつてゐます。

やがて　陛下は臣の一人を御召しになつて『獲物はいかに』と、御問ひ遊ばされましたので、仕方なく、今になるまでまだ一頭の兎さへとれぬ事を申上げますと『さらばよい、此の上は山をすべて卷狩りとして、一つ殘さず打ち捕らう。』と仰せられました。

卷狩りといふお布令が出ると、兵達は更に元氣を增して、山を十重二十重に圍みましたが、さても不思議、今まで逃げまどつてゐた獸はどうしたといふので

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

せう、今は影さへ見えません。臣は又その譯を　陛下に申上げました　陛下は占者をよんで、この樣を占はせられました。

＊

占者はしばらく筮竹をかぞへてゐましたが、やがて神の御託宣だといつて、かう申上げました。

『赤石の浦の底へ沈んでゐる大眞珠をとつて、我をまつりたまはゞ、山の中に獸をいくらおとりになつてもかまひません。』と、これはこの山の神の御告げであつたのです。

それで　陛下は大臣を御よびになりまして、早速赤石の濱の海人たちにこの事を申傳へよと仰せられました。やがて使は馬をとばせて赤石に向ひ、夜のあけぬ中に海人達を皆よび集められました。

＊

やがて　陛下は蹄の音かろく、馬上ゆたかに赤石の濱邊に立たせられました。その御前には、一人の年若い少女が跪いてゐます。それこそ、かの少々茅少女でございます。少女は、貧しい衣に身をまとつてはゐますけれど、その心の賢さとやさしさとは、俯いた面にもあらはれてゐます。事實かの女は、この浦中にかくれもない貞女であつたのでございます。

少女は、謹んで御仰せを承つてゐましたが、やがてその御前を退き、着物をぬぐや否やざんぶとばかり波の中に眞さかさま、大きな波はたちまち少女の姿をかくしてしまひました。そこに居ならぶ澤山の臣達も海人も、皆息をこらして、海の面ばかりを見つめました。

＊

しばらくして少女は波の間にその姿を表しましたけれども、手には何にも持つてゐません。そして『このあたりは、大變底が深くて、とても行きつけません。遠い底に、一つの光る鰒がございます。それこそ神樣の御仰せの眞珠でございせう。どうぞ他の海女をおえらび遊ばされませ。』といひました。

少女の言葉によつて、三四人の海女がえらび出され

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

て海底深く沈みましたけれど、一人として行くつくものはありません。少女は再び召し出されました。

『もう一度沈んでその鰒をとつて來るやうに、その上は褒美はお前の望みのまゝにとらせるから。』と、大臣はいひました。

『御言葉は、此の上もない身の光榮と存じますけれども、何分此の邊の海の深さは七十尋もございます、私にはとてもかなひません。何とぞ他の人をお召し下さいますやうに。』と、繰り返して言つても大臣は更に聞き入れず、是非とも一時も早くとのみいひます。

*

少女は、悲しげな樣子で、傍に立つてゐた夫の顏を伺びました、そして涙の光つてゐる夫の目をみた時、夫の心を知りました。少女は、決心をかためたものか勢よくその着物をすてゝ、腰には長い長い綱を結びつけ、丁度其時一層荒れ狂つてゐる波の間に、身をおどらせて、ひらりと飛び入りました。

波は、次第に高くなります。ごうごうといふ物凄い響は、人々の心をいたましめました。少女の姿は、どこにかくれたか、なか〳〵見えません。

浦の人々は、聲を限りに叫びました。

『少々茅や――』『小女や――』

やがて、ドドドッと打ちよせた山の樣な大波は、少女の體を濱に打ちあげて來ました。その手には、大きな鰒がしつかりと抱かれてゐました。けれど、少女の美しいやさしいその魂は、すでに世をはなれて黄泉の國へいつてゐました。臣達も浦人もこのいたましい少女の姿をみて涙を流さぬ人はありませんでした。

*

少女の生命にもかへて、その日は腕にしつかりとかゝへて來た大鰒の中には、果して大きな眞珠の玉がありました。

陛下は、彼女の若くして逝つた魂を慰めるために塚をつくり、ねんごろにまつられました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

修身歌かるた（下）

島根縣那賀郡伊南村　宇津井處女會長選

ふ　父こひし母こひしてふ幼な子の心を常に忘れずもがな

お　恐るべき慾のほのほのはげしくて我身も家も人もやくなり

し　下見れば我にまさりし物もなし笠とりて見よ天の高さを

う　上見れば及ばぬ事の多かりき笠着て暮せ己が心に

や　破れたる着物を着ても足ることを知れはつづれも錦なりけり

ふ　不足をば唱ふる家は恐ろしく中々もつてよりつかれもせず

こ　事たればたるにあかせて事足らず足らで事たる身こそ安けれ

か　堪忍のなる堪忍はたれもする成らぬ堪忍するが堪忍

う　浮々と暮す様でも瓢箪の胸のあたりにしめくくりあり

う　うつすとは月も思はずうつるとは水も思はぬひろさはの池

よ　世をすてゝ山に入る人山にても猶憂き時は何地行くらん

ま　丸くとも一角あれや人心あまり丸きはころび安きぞ

す　姿こそみ山がくれの朽木なれ心は花になさばなりけん

ひ　貧のくせ恩ある人をわすれつゝぶさたのみかやかげ言を言ふ

わ　忘るなよ天地の惠君と親吾と妻子と一日なりとも

ふ　父母もその父母も我身なりわれを愛せよわれを敬せよ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

き　圓なれやただ圓かれや人心角のあるには物のかかるに

お　おもひやれつかふも人のおもひ子よ我思ひ子に思ひくらべて

た　誰も見よ滿れはやがてかく月のいざよふ空や人の世の中

つ　勉めても努めても亦力めても勤めたらぬはつとめなりけり

は　恥を知れ恥を知らぬは恥をかく恥にすぎたる恥はあらじな

み　見る内にはやいろいろとからくりの變り易きは人心なり

め　目と鼻に手足は人のなみなれど心一つですたるからたぞ

う　植て見よ花のそだたぬ里もなし心からして身は賤しけれ

し　白糸のかづ色々にそむるのも紺屋一人の分別

あ　朝夕に心の底に修身の文字をゑがきて讀や人のため

あ　朝夕にかほと手足を洗ふなら心のあかをすゝぐべきなり

て　手や足のよごれは常に洗へども心のあかを洗ふ人なし

ふ　古の道をきいても唱へても我行ひにせずばかひなし

よ　世の爲に蟹なす文字を學ぶとも横走りする人といはるな

ふ　文よめば昔の人はなかりけり皆今もある我友にして

よ　世の中にかくべき事はかかずして事をかくなり恥をかくなり

よ　世のわざのにごりそめたる人心文讀むほどに清くすみけり

お　をりをりに學ぶいとまはあるものを暇なしと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

て文讀まぬかな

わ　忘るなよ春は耕やし種まきて夏はくさきり秋は收めて

あ　雨あられ雪と氷とへだつれどとくれは同じ谷川の水

ひ　人多き人の中にも人ぞなき人になれ人人になせ人

み　身にもたる玉とはいへどみかゞずばあたら光の世には知られじ

た　瀧のぼる鯉の心は張る弓のゆるめは落る元の河瀬に

う　うつり行くはじめ終りや白雲のあやしき物は心なりけり

や　八百のうそを上手にならべても誠一つにかなはざりけり

お　おちぶれて袖になみだのかかるとき人の心の奥ぞ知らるゝ

し　死んでから佛になるはいらぬ物生きてる内によき人となれ

た　丹誠はたれしらずともおのづから秋の實のまさるかず〳〵

に　濁りなく心の中に水すまばのごけき星のかげも見えなん

は　はるばると安達が原に行かずとも心の内に鬼こもるなり

た　たがみにも七つのくせはありときく幾度も身をかへりみるべし

い　いつとなく見しりききしりのみの息天に通ふといふたとへあり

あ　あかりへは出されぬ事とたくみけり只くらがりに心おくゆゑ

お　恐るべき愚ちと短氣の胸の火が我と我が身をこがすやきもち

か　堪忍は必ず人のためならずつまるところは己が身のため

く　くらぶれば長し短し六かしやがまんの鼻のお

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

き所なし

み　實がいると稲はうつむく人はみが重くなるほどのしあがるなり

た　立ちむかふ人の心はかがみなり己が心をうつしてやみん

い　いさかひはげに山ひこのこだまなり我口ゆるに先もやかまし

わ　わがよきに人のあしきはあるものか人のわるきは我惡しきなり

わ　我心かがみにうつるものならばさぞやすがたのみにくかるらん

わ　私とはなれて見れば心ほどあかるきかがみ世になかりけり

か　金銀は世のたからなり貯へて人のためともなすぞ尊き

か　金をのみほしがる人ぞおかしけれ黄金は飯のかはりやはする

處女十則

福井縣大飯郡處女會長　吉村　貢三郎

一、しつかりとしてすなおにやさしくしとやかなること

二、處女としての操を守ること

三、常に快活にして輕快なること尻重く佛頂面は最も厭ふべし

四、言葉使に氣を付くることやさしくしとやかの顔付きを以て應對すること

五、身體を鍛練し衛生を重んじ常に爪を短かく頸手足に垢を付けず髪を亂さず着物の着方帶の占め方も注意しきちんとすること

六、修學習業にいそしみ現代の處女として遅れざる樣常に心掛くること

七、自己の龜鑑とすべき婦人を定め其の人格に近よるを期すること

八、清き趣味を養ひ誘惑に陷らず虚榮に流れざること

九、處女會の定まりを能く守ること

十、らしくすること

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

孝行娘の納豆賣

＝三月二十一日の日々新聞より＝

四年間無缺席の優等生
朝は納豆、夕は饂飩賣、鉛筆磨き
生きた修身の材料（深川靈岸小學生）

深川區靈岸町東京市立靈岸特殊小學校は附近細民の兒童を多く收容し義務敎育の外手内職などの奬勵をして相當の効果を收めてゐる、四年女生の鵜澤てい（一三）は成績も拔群で校內の模範生、修身科の生きた敎材として尊ばれてゐる一方家庭にあつてはいたいけ盛りの今、納豆賣の孝女として附近の評判者である。同區東大工町二の穢い棟割長屋の四疊半一間の家には大正四年來脊髓挫折の爲め下半身不髓の難病に寢た切りの父要藏（四〇）がゐる日中は母のはる（三七）は家計の爲とて東京製瓶會社の女工となつてゐるし長女は奉公に出たきり唯一の妹のまさ（九つ）が同校一年で何の生計も知らぬ――『自分の娘のことを賞めるのも變ですが私が恁うして床に就いたきり、用便まで世話して貰ふ身ですから一錢の金も儲けることは出來ません。小さいながらもそれとなく氣がついて朝は納豆賣、夕刻はうどん賣、學校の暇には鉛筆磨きなどをして家計を助けて吳れます』と父要藏は延び切つた鬚に悲劇の主人公らしさを現はして云ふ、同校の波々伯部敎師は『ていは實に感心な生徒です。現に四年級の首席で級長で他の模範となつてゐます。一年の時に成績が少し惡かつただけで後の三年間は常に一番でした。殊に入學以來四ヶ年間無缺席といふ稀に見る子供です』と云つた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

村の娘達が調理したご馳走に大喜び

＝孫や曾孫の偉さにも舌を捲く＝

七十歳以上の老人六十を招いた福島縣大沼郡旭村處女會

大沼郡旭村にては去る二月中處女會を組織せしが其規則中の事業の一なる敬老會を催さんと、村内七十歳以上の老人を調査し百九人を得たれば去る十八日以上

◇老人を學校

に招待し兒童の學藝會並に蓄音機の催しをなし敬老的慰安の料に供せんとせしが此の擧を賛し長嶺村長を始め千葉伊佐美、千葉爲吉諸氏等の篤志者より銘酒の寄贈ありたれば處女會役員に於ても大いに喜び各自野菜類を持參し之が調理をなし慰安に供することゝし同日午後零時より開會せしに七十歳より八十九歳迄の高齢の老人の出席せるもの六十餘名先づ阿部會長の古來より我が國に於ては畏くも

◇皇室を始め

奉り民間に於ても大いに敬老の美風ありしこと並に女子の本分として敬老の必要なることを述べて開會の辭となし次て蓄音機にて君が代唱歌同教育勅語の演奏に始まり以て兒童の學藝四十二番を演じ其の間切り毎に蓄音機を奏せしが兒童には何れも平素練習の効顯はれ多大の感動を與へしが殊に參會せし老人には己が孫や彦の幼童が美妙なる

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

◇唱歌や巧なる言ひ廻しの談話や對話を聽くに及て學校敎育の効果の斯くも偉大なるものなるに感じ窃かに暗涙を催せし老人少からず、又蓄音機は當村富豪家たる馬場富三郎氏が近來數百金を投じて極めて嶄新なる機械にして其の音の高く又譜の新奇なる會合の老人中には始めて耳にせるもの尠からず又兒童の學藝の中に於て取り分け讃辭を博せしは尋一談話もちのまと、場馬るい子、同蝶々の話元木正一郎、同唱歌菊の花千葉つね外一名、尋二朗讀羽衣馬場ひろの、同唱歌

◇よく學び良く遊べ馬場きみよ外一名、尋四同決死隊白井ちい外一名、尋五同菅公原はるお外數名、尋六女同笠置落、高女同奈良の都、高一談話老人に對する祝詞馬場傳等にして何れも大喝釆を博せり斯くて終りを告げたれば兼て老人のために校舍の階下に疊を敷き置きし所に於て寄贈の酒と處女會員手料理の品々を以て饗せしに老人の喜び此の上もなく午後

◇五時過ぐる頃醉歩蹣跚嬉々として會員に手を引かれ歸路に附けり。(三月二十四日福島新報より)

伊香保溫泉

(群馬 大森みどり氏寄)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

都にあこがれて（其八）

白雲生作

◎うれし泣き

交番へ駈け込んで娘三人が、事の仔細をつゝまず物語りますと、警官もおどろき、

『實は以前からあすこを怪しいと思つて居たが、ウムさういふ譯だつたか、然しよかつた、あぶないことだつた、まあこちらへお入りなさい』

おきみたちは、吻として、しばらくは三人抱き合つて嬉し泣きに泣きました。足を洗て狹い交番の居間に膝をならべて座りました。もう親舟に乘つた氣持です

『してあとに幾人ゐる』

『三人居ります』

『ウム、わかつた、用心しない中にあとの策戦にとりかゝらう』

あはただしく警官は電話をかけました。三人はヂッとして聽いてゐます。『今娘さんが三人驅け込んでね……ナニウム今さ、其があの曙町の小間物屋の裏のあのな、ソラ以前怪しいと睨んだ家……ウム……』

三人は手を握り合せて默つて聞きしめてゐます。今一寸前の出來事であるが、この間に、三人は死ぬか生きるかの危うい運命を通りぬけて來たのである、と思ふと今の三十分はまことに大事な三十分であつた。救はれた嬉しさに三人の魂は蘇りました。

ゆうべのあらしは忘れた樣に晴れて、夜の幕は一枚

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

一枚に剝がされ、あたりが明るくなつて來ました。あたりが明るくなると共に、三人の運命も明るくなります。

◎救はれて婦人同情園へ

交替の巡査が來まして、一伍終始を聞いて、おどろきもすれば、喜んでもくれました。三人はこんど位交番の情けをしみぐ\〵と感じたことはなかつたのでしたわけても不思議でしたのは、交替の巡査の神田さんがおきみと同じ生國であつたことでした。いろ\〵郷里の話しなどとり交しました。お腹が減つたらうといつて、いろ\〵もてなして貰ひました。旅は道づれ世は情け、東京には恐ろしい人もゐるが、またこうした深切の人もあるものだと三人は心から人の情けに泣きました。

其から三人は神田巡査に伴れられて、婦人同情園に參ることになりました。此處は、地方から出て來て職業に困つてゐる婦人や、誘惑より目さめて手仕事を覺えやうといふ女や、又は自由廢業をした娼婦などを收容する場所であります。お房も、お君も、お里も、當分の間此處に厄介になつて、何か手仕事を覺え、立派な人間になつて、それから故里に歸りたいといふ決心をしたのでした。

◎ほんとうの母より

同情園に參りますと、豫て電話があつたものですから、園長の榊原さんがすぐ出迎へられて應接間に通されました。神田巡査はよく將來のことを園長に賴まれて歸りました。園長の榊原さんは、牧師の奥さんで、四十を少し越したほどのお年で、みるから情け深さうな上品な方であります。三人はます\〵明るい世界に救はれて、心も身も蘇るように感じました。

『あなた方は恐ろしい目にあひましたね、けれどようございました、もうけふからは、此處の生徒です、此處は學校と同じ所、此處にゐます方はみんな皆樣方の御姉さんやお妹さんたちです。田舍の方が多うござい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ます。これからは互に姉妹となつて修養なさい』
お房たちには、奥さんが、眞のお母さんのように思はれました。昨日までの恐ろしかつた生活を胸に浮べて何んとも言へぬ感激の涙がまたも胸に溢れ、目につくのでした。

三人は奥さんに導かれて、園内をひと廻りしました八疊敷ほどの部屋か八つあまり、其には五六人づゝの婦人が、針仕事をしたり、ミシンを習つたり、又は先生から講義を聽いたりしてゐました。井戸端で洗濯ゐしてゐます一組もございました。其等の婦人たちがお房たちを温いなつかしい眼でみてくれますことを、三人はうれしく思ひましたが『わたしたちのようなこわい目に遇うた人たちかしら』と三人は自分に考へ合せて早く此處の方と親しくなりたいと思ひました。

それから三人は別れ〲に、三組の部屋に收容されました。園長さんは、

『みなさんのお友達が來ました、こわい目に遇はれたお氣の毒の方です、けふから姉 妹となつて下さい』

と一同にひき合せてくださいます。

お房は松の部屋に、お君は常盤の間に、お里は牡丹の間に入りました。温いごはんを惠まれ、久しぶりでお湯に入つてその夜は魂のない人のように、よくねむりました。三人の結んだ夢はなんでしたでせう。

◎お君の病氣

救はれた三人は仕合せでした。然しお君はもとあまり丈夫でなかつた上に、夜々碌にねむらずに、心を惱めたので、ひどく身體をいため、動悸がはげしく、息がきれ、食慾も進まず、顏は青ざめ、頬は一日ましにこけて見えます。根が上品な娘ですから口に出しては言ひませんが、疲れて寐つてゐる樣子がいぢらしく見えます。裁縫などしながらもヂッと考へ込んでは、ぼんやりしてゐる日が多くなりました。輕い咳も時々出るようになりました。同室の人たちは、心配しましたが、わけてもわが事のように案じましたのはお房です

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

『ねえ、君ちやん、どこか惡るいの、あんまり考へない方がいゝわ、病氣になると大變よ』

顏色の惡いことも、めつきり窶れたことも、十分知つてゐるが、お房は只こういつては慰めてゐるのでした

『わたしなんだか悲しくなつてしかたがないのよ、こうしてゐても涙が始終出てね。どうかしたちやないのかしら、房ちやんわたし肺病ぢやないのでせうか』

といつてお房の顏をしげ〲眺めた時には、お房はギツクリとしましたが、

『なんの、君ちやん、あなたが肺病になんぞなるものですか、病氣の方が遁げ出しますよ、氣疲れよ、わたしもこの頃身體が少し變でね、方々節々がいたみますわ、君ちやん心配しちや駄目よ』

二人は大勢が庭で散歩してゐるひまをみて、こうしてしんみりと話し合つてゐましたが、その中

『房ちやん、わたしどうしませう、悲しいわ』

といつたまゝどつかと泣き崩れてしまひました。驚いたお房は『ど、どうしたの、君ちやん』と抱き起しますと、

『房ちやんわたし死んでゆきたいわ、死んで……』

『何んの、君ちやん、嫌よ、どうしてそんなことをね、君ちやん、そんな心配すると、ほんとうの病氣になつてよ』

といふ中に、お君は激しく咳を致します。泣きながら咳き切るのがいかにも苦しさうなので、お房は抱へるようにして、背をさすります。

『ね、君ちやん、氣を落ちつけなくては駄目よ、もう此處へ來れば、親舟に乘つたと同じことよ、そして早く家に歸られる樣にしませうよ、ね』

お君は涙をふきながら、とぎれ〲に

『だつて房ちやん、わたし家に歸れない譯があるのよ、其を思ふとつらいわ……』

『其はね、わたしも同じことよ、心配かけてゐるのですもの、けれどいくらお母さんがちがつてゐても、其はきつとそんなことはなくつてよ、きつと〲い

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ゝね、わたしが一所にいつておわびしてあげるわ、駄目よ、心配しちや、ね』
お君は少しヒステリーの氣味もあります。こうして姉と慕つてゐるお房に慰められると、幾分か心も落ち着くが例となりました。
『ね、みんなに知れるといけないからお部屋へ歸りませう。』

◎『お母さんごめんなさい〳〵』

その翌くる日からお君はどつかと床につきました。園長さんも心配されて、お醫者にかけますと、お醫者も首をひねり『心配するとこはないが、ひどく疲れてゐる、少し咳も出る樣子、氣をつけないといけませんな』
と、内所で園長さんにいつたのでした。其を聞いてたお房は、をどろきと共に、一層の同情が起り、其からは毎晩枕元に居つて、しんみの姉妹のように看護をするのでした。お里もとき〴〵來ては、いたわります。三人はすべてのことに、心を合せて居ります。
熱もとかく昇り勝で、食慾は少しもつきません、何をやつてもたべません。すや〳〵眠つてばかりゐるかと思ふと、少しも眠らずに、考へ込んではすゝり泣いてゐます。
外には小春日がポカ〳〵と照つて、青桐の葉のバサリと落ちる音が聞えます。山茶花の花のまわりを小虻がブン〳〵と唸つてゐます。いかにも長閑さう。お房はふと、故里の昨日けふを思ひ浮べ『あゝわたしもすまない、どんなに案じてゐらつしやるでせう、あゝ早く歸りたい、そしてお詫がしたい』と考へてゐる中看病の疲れが出たものと見え、うと〳〵とねむりました。
『お母さんほんとうにわたし……』
お房が突然大きな聲をしてこういつたので、お君が
『房ちやん、どうしたの？』
と病氣のお君があべこべにお房に聞いてゐます。
『君ちやんごめんよ、うつとりとしてしまつたのよ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

今お母さんにね……』
『さう……』
とお君の顏は淋しさうにつこりと笑ひました。都にあこがれた二つの魂が故里に蘇らうとしてその機會がなく、惱んでゐます。
　その夜でした。お君はひどく熱が出て、うはごとを申します。
『お母さん、ごめんなさい〱』
『君ちやん、うなされたわ、氣を落ちつけてね』
お房は一所に寢る樣に、身をすりよせ夜具の上からお君をさすります。お君はパツチリ眼をあいて、につこりしますが、靑ざめてゆく顏の色、色つやのない唇の色をみますと、お房の方が胸が一ぱいになります。
『房ちやん、手があつい？』
といつて差し出す君子の手は、痩せて透き通るよう、
『いゝえ、あつくはないわ、熱氣はないわ』
『房ちやんわたし是からどうなるでせう』
『どうもならないわ、早くよくなつてお家へ歸るのよ、此處を出る時には一所よ、ね、あれだけ約束したんでせう』
　その中疲れが出たと見えて、仰向いたまゝすや〱とねむつてしまひました。
　お房はその寢顏をみて、耐らなくなつて、袂を顏にあてゝ泣き崩れましたが、ふと何を胸に浮べましたが眼を拭つて、そつと障子をあけて自分の部屋から硯と筆をもつて來て、墨をすつて、筆をかんで卷紙へ手紙をかきました。かいてゐる中に、幾度も鼻をかんでは顏をふきました、その文面はこうです。
『まだお目にかゝりませんが、わたしは房子と申します。ふとしたことからお宅の君子さまと御したしくなりました。君子さんは今婦人同情園に居ります此處へお厄介になりますまでに、いろ〱のことがございます、わたくしは君子さんとお仲よしになり一所に居りますが、君子さんはご病氣になりましたたいしたことはございませんがお可愛想でなりませ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ん、及ばずながら御看病はいたしますが、少しもごはんをあがりません。ついてお願ひがございます。どうぞ〳〵御きゝ被下いませ。其は君子さんの家出を御ゆるし願ひたいのです。君子さんはあけてもくれても、お母さんに申譯がない〳〵といふて心配なさつて居ります。それで一つはごはんもたべられないのでございます。わたしが申してはをかしうございますが、家出しましたのは、君子さんがわるいでせう、けれど、もうすつかり淸い心になつて、お詫びが致したい〳〵といつて居ります。ねても起きても、うはごとにさへ、お母さんお母さんごめんなさいと申します、わたしは毎晩泣きます。どうぞお母さん、わたしをにくんで君子さんをゆるしてあげて下さい、君子さんもわたしも、危い所を救はれ、淸い身でございます。どうぞ〳〵御ゆるし下さつて早くお父さんなりともお迎ひに來て被下いまし。御わびが叶へばきつと病氣もよくなります。今のようですと、だん〳〵わるくなります。どうか君子さんをおゆるし下さいまし。今はすや〳〵とねてゐらつしやいます。看病は及ばずながら致しますから御安心下さいませ。こうしてお手紙差し上げるのも何かの御緣でございませう。無禮の子と御ゆるし下さいまづは是にてあら〳〵かしこ。

太田房子

君子さんの
お母さまへ

かき了へるまでに、いくたび袂を顔にあてたでせう巻紙の上に熱い雫がにじんでゐます。

◎内務省で『都に憧れ』を寫す

内務省地方局では、亞米利加製の上等な活動寫眞の器械を買ひまして去る四月十日に内務省内で『都に憧れ』外一巻をうつして、局員に見せました。お房がお君を看病する所など殊に可哀相であるとみんなホロリとしました。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

みなさんの歌をみて

―自然と心のまゝを歌ふのが名歌です―

春風がそよ〳〵と菜の畑を渡ると花にとまつてゐる蝶々がとび立ちます。麥の穂は一所に手を振り頭を振つてをどり始めます。その春の野に立ちますと、自然と口笛が吹きたくなります。歌をうたひたくなります。と蝶々が目の前に舞つて來る。あゝうつくしいなと鍬もつ手をとめて、みとれます。

皆樣が春の野に立つて歌を歌ふとき、皆樣は立派な音樂家であります。唇はオルガン、春風はそのオルガンを鳴らす女神の精です。

又皆樣が目の前にとんでゐる蝶々をみつめた時、あゝうつくしいな、かわいらしいなあと思ふその心が、立派な詩です。歌です。

皆樣歌や俳句を作らうとするならば、まづ自分の心持を高尚に淸くやさしくするのが何よりの大事であります。さうして、その次には、皆樣の心に思つたまゝをかいてみるのです。それが立派な歌です。俳句です。旨い和歌を作らう俳句を作らうとあせつても出來るものでありません。

ある所のかわゆいお孃さんが、

まんまるで鏡の如きお月さま
おひなさまにもみせてあげたい

とよまれましたが、なんてよい歌ではありませんか。

わたしは皆樣のお歌を拜見致します每に、その無邪氣な淸い心のあらはれをたふとくなつかしく思ひます。これこそほんとうの歌です。

今朝みればいはん方なき雪景色
枯木に花を咲かす白雪

雪げしきを詠まれてよく趣が出てゐます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

常日頃働く身にはことさらに
　嬉しかりけり今日の休み日（府下田村百合子）

毎日工場に働いてゐられる百合子子さんけふはお休み日そのうれしさをよまれたのです「常日頃働く身にはことさらに」の上の句がたふといことです。朝から晩までピヤノひいたり琴ひいたりしてゐるお嬢さんには、魂のこもつたよい歌は出來ません。

はねつるべゆるく響きて安らかに
　靜けき村の夜は明けにけり（宮城二階堂ちかを）

いかにも山村の夜明けのさまがよく現はれてゐます。はねつるべの音は乙女の手から出るでせうと思ふと一入床しい。

鷄がケツコウと鳴けば猫ちやんが
　そばでニヤンだと不思議顔なり（神奈川松野夏子）

なんといふよい歌でせう、日當りのよい庭で鷄が勇ましく晝ときをあげる、椽にゐる猫ちやんが『鷄の奴、首をのばしてヘンなカナキリ聲をあげて鳴く、全體なんの爲になくのかしら』と首を廻して考へてゐる所なか〳〵面白いのです。

みどりこき葉の間より二つ三つ
　蜜柑きいろく見ゆる山の家（紀伊佐田好枝）

紀伊は蜜柑の名所、みどりこい葉の間から黄色な蜜柑が二つ三つみえる。その奥に農家がみえる。蜜柑から歌ひ出して山の家とよんだ所なんとも言へません。その山の家のよい娘さん其が好枝さんでせう？

湯上りの母は着物を抱へつゝ
　月今出づとわたしに告げたり（佐田好枝）

是も實によく歌はれてゐます、柳の下の行水を終へて着物を抱へつゝお家へ入られたお母さん『およし、ごらんよ、今月が出るところ』『さう』とよし枝さんは、庭に出られる、田園の情趣ほんとうになつかしい。

深山路に初鶯の聲聞けば
　尋ねても見ん梅のありかを（宮崎山室きみ）

なだらかな調べでございます、香ふ梅の心は言はずもがな、たづぬる人の心も床し。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

山の田に取り殘されし案山子ありて
横さまにふる時雨さびしも（三重辻正子）

秋のさびしみが畫の如く現はれてゐます。

ふる里の山の姿を思ひ見れば
たち歸りたき心地するなり（群馬みよ子）

故里に思ひをのこして出稼ぎなさるみよ子さんが晴れた日に、山の峰にて故里の山を眺め入つて望郷の感にうたれるその純な氣持がよく出てゐます。

冬がれのおちばの下の懇話會
終へて立ちけり薪荷ひて（群馬松本君子）

野の友うちつれて山路に薪拾ふ、是がもう立派な詩です、而も落葉をたいて談話會を開きなさる。燃える火の上に尙落ち葉がチラリ／＼。何といふ趣でせうわたしもこんどお仲間に入れて下さいな。

雨けむる小川のほとり草もえて
木枝につゆの玉のこぼる丶（岐阜島田やよひ）

春雨と柳のみどりとよくその趣が出てゐます。

暖き春のめぐみに若草も
芽ぐむ綠の美しきかな（北海道ミサチ）

北海道にも溫き春のめぐみがめぐまれましたか、春若草、みどりなどの文字がいかにも長閑かさうです。

町の友へ

新潟縣刈羽郡北條村大字舊廣田
田村ツイ

おなつかしい貴代野樣、最う三學期の試驗も始まつた事でせうね、常に弱かつた貴女の御身、もしや試驗になやんで病氣しはすまいかと、絕えず心配して居りました、ところが貴女樣には御健全で日々進學して居られるとの事私はよろこんで居ります、

貴代野樣試驗がすみましたら靜かな田舍にお出でなすつて試驗につかれた御身を安靜にしては如何です、暖かい太陽は小川の水面を流れて枯れた芝生にほつかりと照つて居ます又可愛らしい（ふきのとう）が二ッ三ッ芽を出し始めました、裏畑には麥の芽が二三寸ばかり延びてどこを見ても春は訪れて來ました

赤く冬枯れた草の中に小さい活々とした草の新芽を見出した時私の胸が一時に躍り出やうとしました

なつかしい貴代野樣ほんとうに春は少女の心だとお思ひになりませんか野の草原に足を投げ出して春の歌でもうたつたならどんなに氣持ちのよいことでせう、ね貴代野樣私共の待つて居ませうものをどうぞお出で下さい

さやうなら

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

代理部取扱品

赤堀峰吉、赤堀菊子、赤堀みち子共著
家庭 **日本料理法** …… 洋裝三六判 全一册函入
定價金貳圓 郵税金十二錢

赤堀峰吉、赤堀菊子、赤堀みち子共著
家庭 **日用料用法** …… 和裝菊判 全二册
各册定價金壹圓參拾錢 各郵税金十二錢

赤堀峯翁、赤堀峰吉、赤堀菊子共著
家庭 **十二ケ月料理** …… 和裝菊判 全二册
各册定價金壹圓參拾錢 各郵税金十二錢

奥村繁次郎著
野菜、果物、魚介 **諸國漬物法** …… 洋裝三六判 全一册函入
定價金壹圓七拾錢 郵税金十二錢

石井泰次郎著
野菜料理 …… 洋裝三六判 全一册
定價金七拾錢 郵税金六錢

赤堀峯翁、赤堀峰吉、赤堀菊子共著
即席 **惣菜料理** …… 洋裝三六判 全一册
定價金七拾錢 郵税金四錢

東京市麴町區元園町一ノ四七 處女會中央部 **東京代理部** 振替口座東京五一六〇〇番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

代理部取扱品

春から夏へかけて是非試みられよ

薬學科の大家指導のもとに作られた理想的化粧料を

オキシナー クリーム

本品は一番汚物を除去く力の強い過酸化水素で成立つている此のクリームは皮膚の表面を漂白して眞の美を増し脂肪を調へる力強く實に理想的クリームであります

定價大五十錢也 小三十錢也 送料十二錢也

オキシナー ロージヨン

本品は特種の薬品を調合して液汁に致したるもので日燒を防ぐ脂肪を調へ油止にも荒止にもなり皮膚の美を増す使て心地のよい美容料であります

定價三十五錢也 送料十二錢也

オキシナー 水おしろい

お化粧下（美容液）と白粉と混和したもの第一荒を防ぎ肌を滑かにして「ニキビ」「ソバカス」「立所に去り地肌から色を白く見せるのが本品特長です

定價四十錢也 送料十二錢也

オキシナー ポマード

艶々した自然の黒さと「シワトリ」したま柔みとを毛髪に常に保たし毛髪の發育を助け營養をよくし「クセ毛」「チヾレ毛」よく直します

定價四十五錢也 送料十二錢也

發賣元 良進堂薬品部

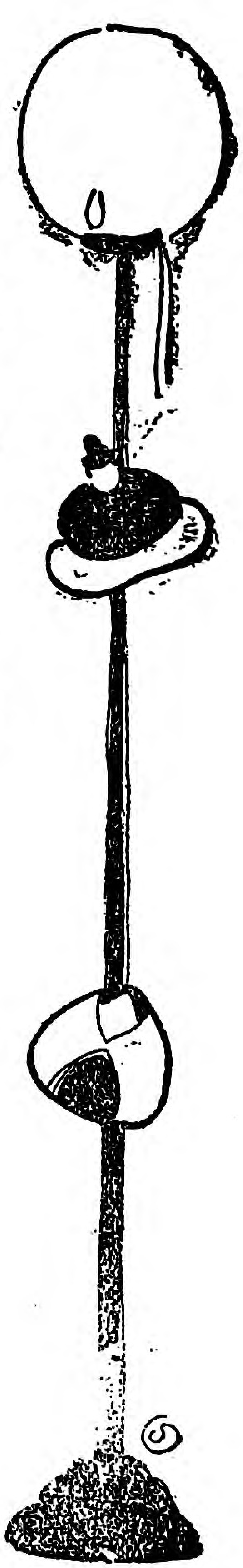
電話九段八一一

東京市麹町區元園町一ノ四七
處女會中央部代理部

振替口座東京五一六〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

赤い煉瓦の工場より



富士瓦斯紡績會社保土ヶ谷工場　田中みどり

夕べの汽笛が鳴り渡ります。暮色に包まれた赤い煉瓦の工場から今日一日の無事のつとめを終つて、樂しくお室に歸りますと、折しも山の端に沒しかゝる、夕日の光り！金色を帶びて山の端を彩つてゐる所、繪にしたらようございます。

お室に入りますと、

◇皆樣も笑顔を以て◇

迎へて下すつたので、私も一所にお話しの仲間に入りました。すると、お室係りの方が參りまして、私共の樂しみにして居りました『處女の友』を下されました私初め一同大喜びでございました。心から優しく讀み初めますと、誠に私共にお爲になる事ばかり、本當に讀み力のある事ですこと。又私の身に比べて感謝致しましたのは感心なおときの話しがあります。本當におときさんは苦勞をして居りますのね。私も讀んで居ります中に、目には涙が浮びまして、よく讀めませんでした。時子さんは、定めし人樣や御兩親樣の目をしのんでお泣きになつた事もありましたでせうね。私も自分の身にくらべてみまして、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

◇思はず涙がこぼれて◇

なりません。

何と致しましても、働くことは大切ですね。雨のふる日も、風の吹く日も、働かなければなりません。其が人のつとめでございます人間がこの世に生れ來つた以上は三寸息の絶えぬかぎり働き通さねばなりません。苦勞や難義に出逢はなければ、人は磨かれません。艱難汝を玉にすと申すことを私どもは心に泌めて居ります。この心を忘れたことはありません。

私は學校へもよくでませんのでかきました中には字のまちがつてゐる所もありませうが、何卒御ゆるし下さい。誠にお恥かしい次第です、何卒私共の樂しみに待ち兼ねてゐます。『處女の友』を早く出して下さい何より一ばんたのしい本であります何卒〳〵お願ひ致しますもう時間も參りましたから是でおわかれ致します。

飛島山の花見

工場より古里に歸りて

岐阜縣吉城郡小鷹利村高野
野田あや

私は父母の仰せにしたがひて、愛知縣寶飯郡御津村下佐脇井澤製糸場に工女となり、毎日孜々として働いて居りましたが、去る十二月二十六日に工場は閉鎖となりましたので二十八日の朝皆様と共に出立致し、その次の十二時頃に富山驛に着しました。二十九日には輕便にのり、笹津驛にて下車して三十日に實家に着きました。嬉しい

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

やらなつかしいやらで、

◇涙がこぼれました◇

夕飯を食し氏神へ參詣致しました。身を切る様に寒く、星もこほつた空に、除夜の鐘の聲は、名殘を長くのこして、靜かなる空氣の中に吸ひ込まれる時大正九年は私等の前に現れました。稍時過ぎて東の方薄紅となりゆくと見る間に、曉告ぐる隣家のにはとりの聲がきこえ、續いて初日は昇り薄紅、紫、黃金色に美しく變りゆく中、空寒けれども風いとおだやかに、雪白くして凛たるこの景色は、げに新玉の今朝にふさはしく見えました。今朝は大正九年一月元旦であると思へば嬉しく飛び立つばかりの思ひして、のぞみ多き新年を迎へました。

記者樣、私は

◇青年處女の聯合總會◇

をみました。郡長樣のお話も、青年處女の五分間演說も何時もより嬉しくなつかしく、思ひ出多い一日を過しました。晴々として宅に歸ると處女の友一月號が來て居りました。うれしくて〳〵宅中飛び廻りたいほどでした。それから學校へゆき、家事修身を習つて歸りました。ことしは、よく學び、よくつとめ「强く優しくまじめに働く」記者樣の御心に副ひませう。

◎姉さん

島根　無名女

寒い朝であつた向ふの山には雪が積つて庭の枯木には若い日の光が當つて何處からか細々と梅のかほりが流れて來る玄關には吳服屋が來てゐる御仲さんが頻りと呼んでゐるのに姉さんは居間に閉ぢこもつてどうして居られるのだらう一生一度の晴着を擇ばうともせずに隨分姉さんの嫁入話は久しかつた良人になる方はどんな方だらう此の頃の樣子は妹の私にさへ遠慮するように無言では居るが私の語る事には少しも耳を傾けてくれない子供のように思つて居るのだらうかお母さんだつて姉さんには衣類をどれだけ新調したかしれないのに私には何時も其の古い許りで然し私も年頃になつたら他家へ緣付くのかと思ふと姉さんが可愛相な氣がするきつと姉さんは机に凭れて其んな事を思つてゐるのだらう

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

鄙ぶり

田子の浦に打ち出て見れば白妙の腿までまくり蛤を取る　吹子
世の爲めに身は犧牲の蠶ぞと思うて勵め賤の苧だ巻　茶子
味よりも色から褒むる草の餅マー奇麗よとミーチャンは云ふ　房女
山里や春の雨夜の物靜か都の空の憧憬れにけり　春枝
咲足らぬ程の愛らし稚兒櫻一枝折つて雛に捧ぐる　千代
花嫁の素顏も見たり蠶時村長サンの桑畠にて　靜子
青麥や眉毛に積る砂埃鍬執る娘扱ても麗し　桑子
餅草や自在に掛けし茶の甘み都人には知れぬ味ひ　小染
牛曳て渉る小川や水ぬるみ草鞋の先に蛙ヒヨコ〳〵　歌子
春雨を聞きつゝ寢入る臼の音牡丹餅を食ふ夢を見るなり　同
花の旅京に日數を重ねしは工場主の惠なるかも　峰吉
鵜と共に美濃苦しみも長良川鮎も河原ぬ家の職業　春子
箱入の娘の雛の祝ひ琴里の調べの通ふ松風　安子
霞む間を帆舟の見えてそろ〳〵と櫓を漕出す日和長閑き　みさを
花咲けど訪ふ人もなき山里の春の彌生を誰と暮さん　同

俚諺のわけ

△お芋の煮えたも御存じないか、お芋の煮えたを知らぬと云つた處で何んの意味だか更らに分りませぬが、之は天正の昔し彼の明智日向守光秀が日頃主公織田信長に憎厭せられて居ることを知つて居ますから、よき折りが在つたら叛逆を計るべく兼々考へて居たのであります、そこで自分の愛妾阿今と云ふ女を甘々信長の侍女として安土の御城へ住み込まして極密の役目をなさしめたものだが、信長が毛利征伐の爲めに中國に下向せらるべく出陣せられた時にも亦隨從して京都に來たのであるが、光秀がイザ本能寺燒討と事を定めた三日以前に此の阿今は信長の身邊より何處とも知れず其の姿を隱したのであります、無論内部の容子を報告すべく光秀の手許に逃げ歸つたものであります、織田家の人々が之れに氣の附かなかつたのが後から思へば迂の愚きたもので、其れなれば本能寺事件の後明智方のものが信長の不覺を嘲笑して「阿今の遁げたも御存じないか」と云つたのが轉訛したのであります。

△樒木に羽が生える、この諺は能く裏店社會の夫婦喧嘩の實況を寫生して居ますが、之は「蓮如に羽が生える」と云つたのが變化したもので、卽ち門徒中興の名僧蓮如上人が加越の國境吉崎御坊に居られて大層勢力を振はれま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

飼牛にはませる草の餅搗いて供へる雛の段も高持　高子
夢の間は旅の苦勞も忘れつゝ覺むれば遠き故鄕の空　同
春雨の惠みあまねく見ゆる哉野邊の青麥色の增りて　春子
女子とて何ど參政を得ざるべき七千萬の内と思へば　小芳
勞働の時間の減るはよけれども小使錢のいるは憂たてし　愛子
活動や芝居に誘ふ友達は惡魔の子とぞ我れは見る也　同
身は遠き旅の宿りにありながら夢路は近く通ふ古里　かねこ
一と群れは仕事戻りの桃見から工女の袂拂ふ春風　同
故鄕の空なつかしき草枕寢る夜の夢の短かきぞ憂き　冬子
山の名を誰か嵐と夕まぐれ花は靜に心して散る　信子
鄙の家に雛の節句を祝はんと草の餅やら桃の花やら　小淸
懷ろ手した紙雛を祭るなり春は仕事も樂な農家に　幹子

選者吟

梅の舍主人

元木より增りし花の咲やらん梨の接き芽の末ぞ賴母し
城下にて求め田舍へ御幸ます雛の上樣牛車にて

したのを惜しみ越前の國主淺倉義景が不意に御坊を攻圍んで襲擊したのであるが、上人は何處へドゥ逃げられたか、何時の間にか尾山（今の金澤）に危難を避けられた、其れで淺倉勢は蓮如に羽が生えたと申したのであります

私の望の一つ

滋賀　藤井まつ

私ののぞみと申しましても色々の方面につきまして數々ございますその中でも讀書は其一番希望するものでございます。

女は何も知らぬ方がおとなしくてよい色々のことを知ると横着になつて仕方がないとか又他家へ嫁つてから、この本を讀んで見なさいこの算術をして下さいと注文される事はない本をよむひまがあるのなら足袋のつくろひでもよくお稽古しておいた方がよいなどゝ云ふ人があるさうですが何といふ情ない人達でせう、一寸考へたところではその方が早く役に立つてよいかも知れませんけれども、何も橫着するための讀書でもありません、人に見せるための學問でもありません、私はそんな事には第一の反對者でございます、例へさうであるにしても、農家に生活して忙しい仕事のひま／＼に新聞や雜誌をよんだ位でこの進んだ世の中に何でそんなことが出來ませう。

時世の進步は流れる水のやうに少しもとゞまることはありません、さうした時代に生れ合せて居乍ら間違つた考へを持つて何も讀ますにすごしたならば全く無學に等しいのです。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

地方婦女會だより

一　七寶婦人會の歌

徳島縣名東郡上八萬村
婦人會七寶支部　山崎　伊三郎君(報)

(1) 治る御代の安らけく、御惠み受けて、たのもしや
金銀さんご、しやこ　しんじゆ、
めのう、たいまい　品々の、

(2) 寶あつめし七寶の、婦人會こそ　めでたけれ。
姉さん　かむりに　襷がけ、手に／＼鍬とり鎌を
とり、

(3) 笑顔すゞしき青田中、節面白き　山の上。
春の鶯、夏のせみ、秋はもみぢに冬氷
なたねに、蝶々、田に蛙、虫の樂隊おもしろや。

(4) 米あり麥あり薪あり、豆芋、大根、梅に桃
花も實もある七寶の、我里こそは　豐かなれ

(5) 木綿着物に飯と汁、分度推讓守りつゝ、
額に汗して働くは、世にも幸ある國民よ。

(6) 螢の光、窓の雪、薪負ふ手に書物もつ、
乙女のすがた、ほの見ゆる、これぞ我里平和なれ

二　處女會成立

當村處女會も御蔭樣にて既に組織成り、去る十日發會式を擧行致候。會員二百七名全部出席、服裝の質素なる誠に喜ばしく候。會則左に御覽に供し候(會長鈴木清太郎君)

○栃木縣安蘇郡旗川村處女會々則

第一條　本會は教育勅語及戊申戴書の御主旨を奉戴して女子の德操を進むるを以て目的とす

第二條　本會は旗川村處女會と稱す

第三條　本會の事務所は旗川村小學校内に置く

第四條　本會は左の事業を行ふ

一、精神修養に關する講演會、談話會、研究會等を開くこと

二、裁縫家事作法農業等の短期講習會或は練習會を開くこと

三、既習學科の補習をなすこと

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

四、善行者の表彰をなすこと
五、其他本會の目的を達するために必要なる事項

第五條　春秋二回總會を開きて會員相互の談話、講演等を爲し春季總會の際は庶務會計の報告をなすものとす、但し時宜により臨時會を開くことあるべし

第六條　本會々員は小學校卒業以上の未婚者とす

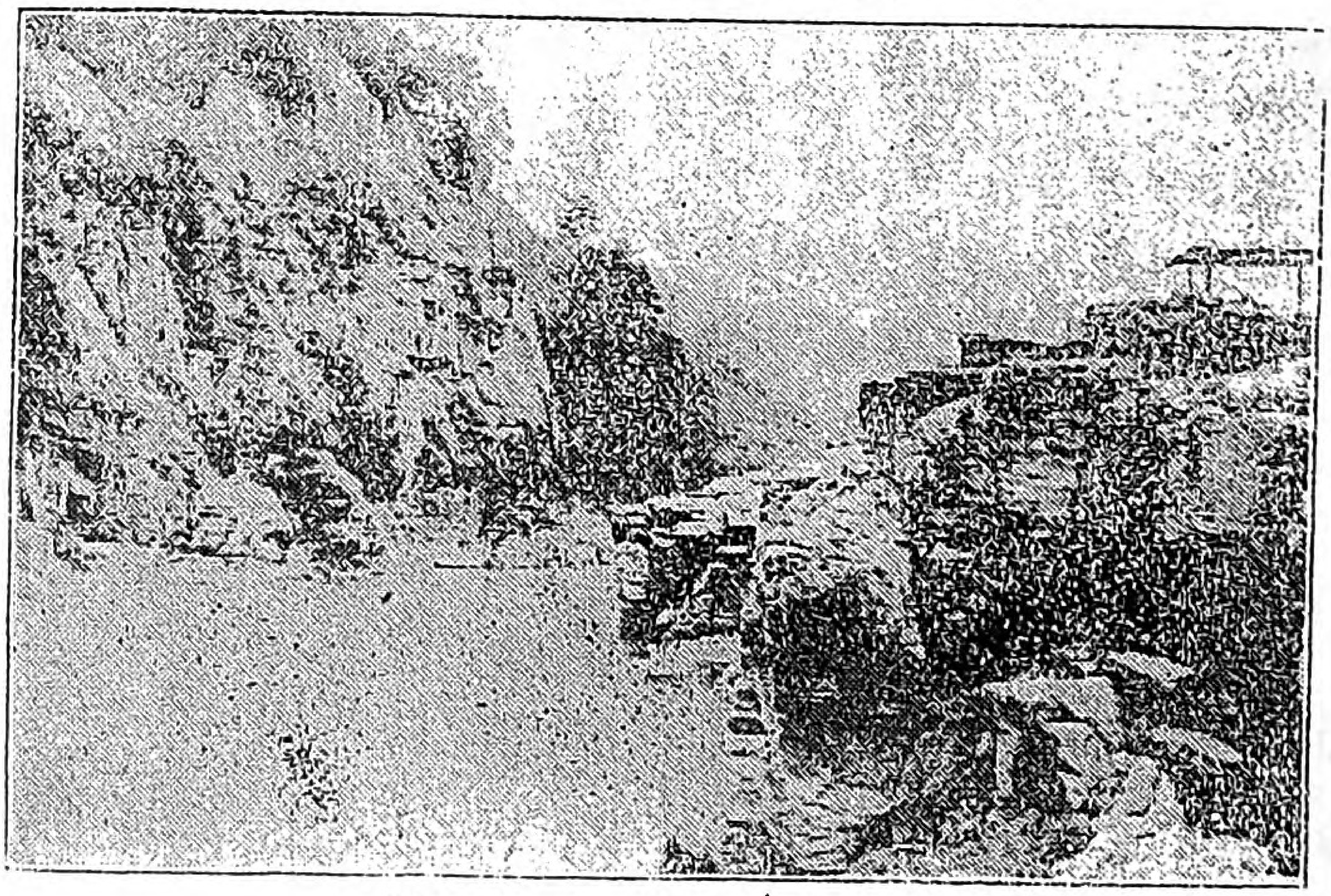
第七條　本會に左の役員を置き任期を二ヶ年とし副會長以下の役員は總會に於て選擧するものとす

一、會長　會長は旗川村長を推薦するものとす
二、副會長　一名
三、幹事　四、評議員

第八條　本村の名望家及名望家夫人を推薦して(一)顧問(二)賛助員として援助を請ふものとす

第九條　會長は會務を總理し會を代表す、副會長は會

秩父名勝長瀞



(秩父君子さん奇)

長を補佐して會長事故ある時は其職務を代理す、幹事は會長の指揮に從ひ庶務會計に從事す評議員は(一)事業の設定及施行方法に關すること(二)豫算並に決算に關すること(三)顧問並に賛助員の推薦に關すること(四)會則の變更に關すること(五)其の他必要と認めたる事項等の協議に與るものとす

第十條　會員は左の義務あるものとす

一、會費として年額金參拾錢を納むること
二、時間を確守すること
三、召集又は會合には必らず出席すること
四、常に質素を旨とし特に本會出席の際は木綿服を着すること
五、常に敬神、崇祖、規律、共同、公共、服從、の精神を持し以て村是の實行に努むること

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

長　鈴木清太郎（會報）

三　處女會の常識試問

我が處女會（福島縣東白川郡竹貫村）にては、去る一月三十一日會員の常識試問を行ひましたが非常の上成績でございました。

一、書取、

(1)村税、(2)賣買、(3)單衣、(4)砂糖、(5)醬油、(6)鍬鎌、(7)物價騰貴、(8)料理、(9)御歳暮、(01)出産、

二、讀方、

(1)皆々樣御機嫌うるはしう御越年遊ばされ候こと目出度存候
(2)奢侈贅澤
(3)田舎、郡會
(4)害虫驅除
(5)衛生檢査
(6)熱心勉强
(7)道路修繕

暗　　算

(1)　15寸ノ布　11倍デイクラ

(2)　2 圓58錢ノカカリヲ9人テ出ストスレバ1人前イクラ

筆　　算

(3)

$$\begin{array}{r} 245 \\ 357 \\ 468 \\ +\ 579 \\ \hline \end{array}$$

(4)

$$\begin{array}{r} 10\ 10 \\ -\ 318 \\ \hline \end{array}$$

(5)　843 × 7 =

(6)　698 × 15=

(7)　232 ÷ 4 =

(8)　975 ÷ 25=

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

(9) $\frac{1}{2}$ ト $\frac{1}{3}$ ト何レガ大ナルカ

(10) $\frac{1}{4} + \frac{3}{3} =$

(11) 米1升56錢ニ付1斗5升デ代金イクラ、

(12) 鹽300匁デ12錢ナルトキ900匁デイクラ、

(13) 2人ノ子ドモニ135錢ノ錢ヲ分與スルニ兄ト弟トノ取前ハ3ト2トノ如シトイフ、各イクラ、

記者曰く　かように近頃處女會が常識問答をしてゐる地方が多うございますが面白いことゝ思ひます。時々試みて下さい。「處女の友」でも摸擬試驗をしたいと思ひます。女學校の入學試驗問題をも出して皆樣に答へてもらひませう。田舍に居つても智識に後れぬやう一生懸命に勉めて下さい。田植も草刈も一種の學問ですこの上に「筆と頭」の智識があれば鬼に金棒です。

四　福井縣大飯郡處女會規則

第一條　本會は大飯郡處女會と稱し事務所を大飯郡役所内に置く

第二條　本會は郡内各町村處女會を以て組織す

第三條　本會は郡内各町村處女會相互の氣脈を通じ其の向上を圖るを以て目的とす

第四條　本會は前條の目的を達する爲左の事項を行ふものとす

一、總會
二、短期講習會
三、講演會（合同又は巡回）
四、聯合旅行
五、其他必要なる事項

第五條　本會に左の役員を置く

會長　一名　本郡長を推戴す
主事　一名　本郡視學に會長より依囑す
幹事　若干名　大飯郡役所學事書記及各町村處女會長に會長より依囑す

第六條　役員の職務次の如し

會長は會務を總理し本會を代表す
主事は會長の指揮を受け本會一切の事務を掌る

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

幹事は會長の命に依り事務を分擔す

第七條　本會經費は郡教育會の補助及町村處女會の分擔醵出金並に有志の寄附金を以て之に充つるものとす

附則　本規則は大正九年三月二十八日より實施す

（小芝郡視學報）

福井縣大飯郡各町村處女會一覽

會名	設置區域	會長種別	會員數	會員年齡範圍	大正八年度經費概算	資產	創立年月	沿革大要
高濱町婦人會	高濱町一般	高濱町長	一〇二	小學校卒業以上の婦女子	二七円、〇〇錢	錢	大正二年一月	大正二年一月創立附來每月一回例會を開き町下婦女子の修養に資す大正八年五月處女部を設置す
內浦村處女會開利支部	內浦校下	內浦小學校長	一八	尋常小學校卒業以上の未婚者	一〇、〇〇	七〇、〇〇	大正八年八月	大正六年十月開利處女會を創立し大正八年八月內浦村各小學校下處女會を統一して內浦村處女會を設置し支部させり
內浦村處女會神進支部	神野校下	神野小學校長	二三	同	一〇、一五	八、〇〇	大正八年八月	大正三年十二月神進處女會を創立し大正八年內浦村處女會支部さなる
內浦村處女會音海支部	音海校下	音海小學校長	一九	同	九、五〇	一〇〇、六五	大正八年八月	大正七年三月音海處女會を創立し大正八年八月內浦村處女會支部さなる
內浦村處女會日引支部	日引校下	日引小學校長	二二	同	—	—	大正八年八月	大正六年十二月日引處女會を起し大正八年八月內浦村處女會支部さなる

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

青郷處女會	青郷校下	青郷小學校長	七五	同	—	—	大正八年五月	從來の校友會に統一し皇太子殿下御成年式記念として本會創立
三松處女會	三松校下	三松小學校長	三二	同	—	—	大正八年五月	右同
和田村處女會	和田村一圓	和田小學校長	五五	十二歳以上二十五歳未滿の未婚者	一〇、〇〇	—	大正八年五月	明治四十三年和田校友會を組織せるが大正八年五月皇太子殿下御成年記念として本會を組織す
佐分利處女會	佐分利校下	佐分利小學校長	四四	小學校卒業以上二十歳まで	六、〇〇	—	大正八年七月	皇太子殿下御成年式記念として創立し會員の全部補習學校就學することゝせり
川上處女會	川上校下	川上小學校長	二四	十四歳以上十九歳まで	二、五〇	—	大正八年七月	
岡安處女會	岡安校下	岡安小學校長	三五	小學校卒業後の未婚者	二、〇〇	—	大正八年七月	
本郷村處女會	本郷村一圓	本郷小學校長	一二七	同	一〇、〇〇	—	大正八年六月	從本の娘會を統一して處女會となす
加斗村處女會	加斗村一圓	加斗小學校長	五五	十四歳より十八歳まで	三、〇〇	—	大正八年五月	皇太子殿下御成年式記念として創立
大島村處女會	大島村一圓	大島村長	三四	尋常小學校二十歳以下の女子	五、〇〇	—	大正八年七月	同

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

全國處女會 婦人會 主婦會 一覽（其六）

廣島縣（續）

郡	名稱	創立年月	會員數	會長氏名
加茂郡	西條町松操會	三、一	四〇	重森壽人
	吉土實村婦女會	五、九	三二	蓮池要
	御薗宇村處女會	四一、三	六八	一川ヨネ
	寺西村處女會	四五、二	七五	磯部良夫
	原村處女會	七、三	四〇	梅田初太郎
	下見村處女會	四二、四	一五	廣川タケ
	熊野跡村處女會	四〇、二	二〇	缺員
	郷田村處女會	二、一二	六六	柏尾輝喜
	板城村處女會	四、一	八五	木原佳太郎
	上黒瀬村處女會	三七、四	四一	村上哉衛
	乃美尾村處女會	四四、七	二九	菅田繁男
	中黒瀬村處女會	四〇、一	三〇〇	平賀タツ子
	下黒瀬村彌生會	六、一	一二九	菅原守
	郷原村處女會	四二、一	一〇七	進藤久
	廣村處女會	四二、三	四八二	村越隆寛
	仁方町處女會	四二、四	一三二	手島マツ
	三津口村處女會	六、九	九五	數益鷹三
	內海町處女會	四一、五	七〇	原田品太郎
	風早處女會	四五、二	四七	平田二郎
	大田處女會	四五、二	三一	河野諒次郎
	小松原處女會	三、一〇	四六	松田トシノ
	三津婦人會處女部	五、一一	五〇	南清維
	三津婦人會婦人部	四一、五	八六〇	栖茂
	竹原町處女會	二、一〇	六三	谷山寅造
	上三永婦女會	二、三	一四二	高田義尹
	仁賀婦女會	四五、三	三二	海本亮一
	下三永村婦女會	五、二	二〇〇	七肥次郎
	西高屋村處女會	四五、一	五七	高龜哲宗
	造賀村處女會	五、九	八三	石田等
	東志和村處女會	四四、五	三四	岡田亮作
	志和堀村處女會	四、四	一二一	鈴木競

鳥取縣

郡	名稱	創立年月	會員數	會長氏名
八頭郡	賀茂村處女會	五、三	六〇	横川芳船
	松岡村處女會	七、二	七五	竹內千代勝
	齊美處女會	七、三	五一	山岡可れ
	大江處女會	七、二	四三	小林滋夫
	河原村處女會	七、三	九二	竹內麻造
	八上村婦女會	四、九	三七	岩永芳實
	大御門村處女會	五、八	四二	井尻峯造
	隼村處女會	五、一二	六六	和田德治郎
	安部村處女會	七、一	五三	岡本義夫
	八東村處女會	七、四	四二	松浦昇厳
	若櫻町處女會	七、三	九二	林はる
	池田村處女會	四、三	一二五	田中鹿蔵
	中私津村處女會	七、二	五五	三原信治
	下私津村處女團	三、二	七九	山本波
	大村處女會	六、一二	四三	森田勘吉
	用瀬町處女會	六、七	六二	石田實太部

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

佐治第一處女會	三、二	五八	横山重遠
佐治第二處女會	四、四	五八	西尾甚平
佐治第三處女會	六、四	四〇	山根秀吉
社村處女會	七、二	六三	鎌田傳蔵
智頭町處女會	五、九	一〇二	安東繁子
土師村處女會	六、五	七三	小幡守之
郷原校下處女會	六、一一	六〇	國政宗三
芦津校下處女會	七、七	五四	北村斧松
山郷村處女會	七、二	三九	名越純三

西伯郡

彦名處女會	六、一	八八	谷口暎眞
宇田川處女會	四四、四	三三	深田林太郎
住吉村碧會	四四、一〇	六六	西尾利隆
巖村處女會	七、三	四四	元妹鐵四郎
吉定處女會	四、一一	一一	木村勘壽郎
夜見處女會	五、四	一七	松本爲一
車尾女子脩會	三九、七	一二〇	小原貞武
東長田處女會	七、二	一一八	磯田市太郎
和田村處女會	六、一二	一〇六	大塚義彦
福米村二葉會	六、一〇	九八	中間龜太郎
淀江處女會	七、一	一五〇	吉川宗一
大高村處女會	七、一	七一	坂口菊太郎
加茂村二葉會	六、一	一二二	鈌員
法勝寺村處女會	七、二	五六	坂口定治
崎津處女會	七、三	六五	嘉賀梅藏
余子村處女會	七、三	一九五	吉田百藏
大篠冉處女會	六、二	四五	安田節三
米子町啓成處女會	七、二	一二〇	磯尾岩夫
米子町明道處女會	七、二	一一〇	前田重太郎
米子町龍將處女會	七、二	九五	內藤靜
矢津村處女會	六、三	三三	今村正彦
阿毘縁處女會	七、一	六三	杉原雄治

日野郡

山上村處女會	四〇、五	五四	內藤岩雄
明倫處女會	三、九	八五	坂上賢宗
俣野處女會	四、七	七四	岡淨治
石見處女會	四、七	四二	相見龜雄
花口處女會	四、八	五〇	加藤保之
神戸上處女會	四、七	二四	丸山喜次郎
下石見處女會	六、二	四五	植松松代
多里村處女	六、二	一三〇	齋坂米次郎
福榮村處女會	三、四	七四	兒玉さしゑ
江尾村處女會	四〇、三	八五	山田和市
吉壽成美處女會	四、二	七八	安田廣藏
大正處女會	七、四	九一	佐々木淸一郎
旭村處女會	五、二	五五	宮城好介
板井原處女會	五、五	三〇	山田一男
根雨處女會	五、五	五〇	池田茂一郎
溝口村處女會	六、一	九〇	長田治一郎
二部處女會	元、一二	三九	和田碩天
御机處女會	七、五	三〇	田川浩毅
渡處女會	四四、二	九五	生田永次郎
安井處女會	四四、二	五六	水島謙藏

◎處女會の歌

東京大阪大新聞の廣告にもありました通り、處女會の歌が出來ました。色刷の立派な本です。どうか歌つて下さい。

東京市神田仲猿樂町十五
アルス書店
振替東京二四八八八番

一部二十錢　送料二錢でございます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

趣味講談

描かれた娘（其四）

天野雉彦

『ヘエッ亡くなつた、何時』

『丁度今宵が一と七日』

『ふん七日前、何時頃』

『忘れもしません、お寺の鐘がなりました時』

應擧は思はずぞつとしました、

『先生、あの娘は大層、心掛けのよいものでございまして、一同のほめものでございました、只難を申しますと無口な、ちと陰氣な性質でございました、尤も、無理はございません、親が知れないのでございまして、どうかしてその親にあひたい〳〵とそればかり苦にしておりました、あの娘についてはこんなこともありました、ある時誰か此内の大事な鉢をこわしたものがありました、旦那は口八釜しい人でしてひどく怒りまして、一同を嚴しう詮議をいたしました、誰も申し出る人がありません、するとあのお蝶さんが『私が不調法をいたしまして』と申出ました、旦那は大層怒りまして『お前は兼ておとなしい娘だと思つたに、さては猫かぶりであつたか、勘辨ならぬ、出て行け』と云ふのですするとお蝶さんが袖にすがりまして『旦那樣、御縁あつて此方樣へ參りましたものです、私は參ります處がございませんどうか御許し下さいませ』と泣くのです、すると人には本心があるものでございます、本當に過をした娘が出まして『旦那樣鉢をこわしたのは私でございます、お蝶さんではございません、どうか私を出して下されい』と云ふのです、段々調べて見る

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

と全くお蝶さんではないのです、全く此新米の娘がしたに相違なかつたのです、お蝶はそれを知つてゐていかにも可愛さうだと云ふので身代りにならふとしたのです、それで私は自分の苦勞でも背負い切れぬほどもつてお出だになせお前はそんな餘計なことをするのかと、たしなめますと『姉さん、妾ほど不運なものはない、親に逢ひたいと念じておりますが、その親も生きてゐてくれませんと致方がない、お說敎をきいて見ますと何でも此世のことは前世の業のむくひ、さきの世のことは今世の因によるとのこと、何でも善いことをいたすより外に道はないと考へまして、善いことの中でも人の難儀を救ふよりよいことはないと思ひまして、あんなことをいたしました、淺はかな娘だ生意氣なものだと笑つて下さるなと申します、笑ふ處か恐れ入つたと話したこともありました、それにあんな業病にかゝりまして、親にあひたいあひたいと云ひ死にいたしました、全く氣の毒なことをいたしました、しかし先生、たしなみのよい娘でして、枕許に金の包がおいてありました、死後の用意にとつておいたのでせう。

應擧は此話を聞いて、酒ものどへは落ちません早速宿へかへりました、翌日弟子をつれて、墓詣でをしてやりました、だんだんと聞いて初めてそれと知れた形ばかりの土饅頭露の滴る桔梗、女郎花手向けて、花も開かず蕾のまゝしぼんだ若い處女の靈を吊つてやりました。

應擧が長崎を引上げて京都に歸つたは、秋も半三十六峯皆錦を織り出して、山は紫に水は明かといふ京洛の里も一入の眺めでした、

三條小橋の橋の袂に、繩暖簾をかけ酒を賣つてゐる主人甚兵衛、至つて正直者、婆さんとの二人暮し、芋と棒鱈とをとり合はせて似た芋棒それが評判でかなりの客を引いておりました、風流な應擧は時々杖を曳きました、今日久しぶりで來て見

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

ると、秋の日が斜に甚兵衛酒店を射て、赤い蜻蛉がさつと飛んで行くと繩暖簾がさつと動いた『秋風のこゝろ動きぬ繩すだれ』繪になるなと思ひ乍

『御免よ』とのれんをくゞりました、

『ヤあ、誰かと思へば應擧先生ではございませんか、お久し振でございまして、長崎へお出と伺ひましたが、ハイハイ左樣でございますか、彼方は大變、惡い病が流行ましたさうですが、先生樣はお變りもなく、いや結構でございました』

『お爺さんも達者でえゝな』

『へエ、貧乏達者とやら、まあ身體だけは』

『甚兵衛さんお前の内は大層さびれたやうだね』

『へいから駄目でございます、物價が高くなりまして手も足も出ません』

『お酒を持つてお出』

『ハイハイ』應擧は一杯のんで見て、いやな顏をして

『ひどく惡い酒だな、どうしたものだ』

『酒屋がよこしませんので』

『なぜだ』

『拂ひが惡いので、仕方がないからもとある奴へ水を割り、水を割りして賣つてをりましたが、段々水の方が餘計になりまして、酒はほんのかさばかりになりました、

『それではいけぬ筈だ、それほど迄困つてゐるのか』

『困るの段ではございません、實は先生今晩お目にかゝれたのが、せめてもの仕合、明日はもうお目には掛れません』

『どうしやうと云ひなさるか』

『實は今婆さんと夜逃げの相談をしてゐた處でございます』

『それはきわどい處へ飛び込んだもんだおい應擧が來た上は、夜にげはさせぬよ』

『先生それは殺生、大家の佐兵衛がやつて參りましてそれはそれは八釜しう申します、無理もな

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

い隨分たまりました、ついては鍋釜一切をかたにおいて、其ことわけを書きおきして、にげ出すつもりでございます』

『しかし甚兵衞さん、まちなさい、私も長い間の馴染だ、その落ち目を外方に見るわけには行かぬ、繪師貧乏と別に何ももつてはゐぬが、佐兵衞は私の知人だ、その趣を話してまつて貰はふ、八百屋でも肴屋でも、應擧の名を出せばきつとまつてくれよう心配しなさんな、その内何か考へてお前の内の繁昌する工夫をしてあげよう、何もさうくよ〱するものではない』

『さう仰つて下さるのは先生ばかりでございます』

應擧は十日ばかりたつて、立派に表裝した一軸をもつて、甚兵衞酒屋を訪ねました、

『甚兵衞さん内にか』

『ヤあ、これは先生樣でございますか、先日は有難うございました、あれから大家の佐兵衞さんが參りまして、圓山先生からお話があつたから決して心配しなさんな、一生居てもかまわぬ、雨が漏るならなほさうか、疊がいたんだらかへようかそれはお世辭だらだら、それに八百屋をよいのを送つてくれる、酒もよいのをよこししくれる、大分景氣もつきまして、此頃ではお客もぽつり〱、この調子なら大丈夫これと申すも先生樣のお恩、恩をうけた人の方へは足を向けて寢てもすまぬ、婆さんと相談いたしまして、さて先生樣の方角がとんと分らぬ、こちらへ向いては惡かろか、こちらではと一晩グルグル廻つて寢てゐるといふ仕末』

『いやそれは有難い、時に甚兵衞さん、お前の内の繁昌する繪をかいて來ましたぞ、』

『へいへいそれは有難うございます、先生、それは中を拜見いたさずとも、圖は大抵知れております、蓬萊に鶴龜さうでなくば七福神』

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

誌友くらぶ

はがきをもつて御來會下さい。長いお話は御免下さい後れた方は次の月

○私の心に持つて居る望みは唯一つです。今更何を企てゝも今日の時世は食物のたりないのが我國の難儀なのですからそれをおぎなはん爲に私は農業に勢を出して朝早くから夜おそくまで金剛石の歌の中にある様に日かげおしみて植付時から取入までの稲の一生をはげましつゝ勇ましいやさしい田舍の生活にしたしんで成ろべくお米を多く取り國家の爲に勢出して働き節約して富を増し又古歌に

いさまなしさて文よまぬかなたり〳〵に遊ぶいさまはある人の

さある歌の教を實行していさまあれば讀書して學びの道さ農業さに勢を出して行かうさ思ふのが私の唯一つの望みです。（滋賀坪田シヨ）○記者曰く「よいお心掛です」

○御羨はしき記者様始め誌友の諸姉様には御障も無く嬉しき初春を御迎ひ遊ばされた夲さ存じます。私はさうからの愛讀者で御座いますが御便りは今度が始めてゞあります不束な寒村の乙女ですが何卒清き誌上にて御導き下いませさようなら。（福島縣會田せつ子）

○私の所は二三年まへは七十戸位今では少し大きくなつたかさ思はれます。淋しい田舍でムいます。段々さ近づきつゝある農業に勵まねばならぬのです。暑中の農事はいやでございます。然し處女の友をさがしよみ始めてからは、働くことがたのしくなりました。只發行日を早くして下さいな。（福島笠原ふじ子）○記者日く「發行日について方々からお叱言が來ます」

○さつそく申し上げます。私は双葉郡浪江の裁縫女學校に通つて居りますが近頃入學致しましたものです。あくる朝別室で處女の友を拜見しました、ためになる本、私はこの本をお手本さして立派な人にならればなりません。（福島安部はつ子）

○私共は相變らず信州の山里に自然を友さして樂しく暮らして居りますが私共の處女の友を愛讀致しましたのは、去年の陸軍記念日ですから、丁度一年になります。皆様「處女會訓」を忘れぬ様働きませう（長野瀧澤やよ子）

○私は來年三月高等小學校を卒業致しますので、下手ながら投書も致します、お直し下さい。私の住む猪苗代は小さい町ですが、なか〳〵風景のよい所です。四方は山にかくれて居りますが、此には盤梯山があり、南には猪苗代湖があり、湖畔に高松の宮の御別邸があります。私はこんなよい所に生れたのが仕合せです、記者様處女の友を盛んにして下さい。（福島八千さし子）

○私は四國の片田舍の者でございますが本年の一月より本誌の愛讀者さなりました。そして會訓の強く優しくまじめに働けを忠實に守つて居ります（香川縣仲多度郡垂水村尾松みするゑ）

○先達ては美事な書物をお送り下されありがさうございます。私しお金より着物より書物が好きでありますこの本で強く優しくまじめに働く女さなりたうございます。（靜岡縣小笠郡朝比奈村水野みせ子）

○天野先生のおかきになつた地方の婦人へさいふ書物はおゆづりしていたゞけないでせうか。（廣島縣御調郡宇津戸村桒みつろ）△神田南神保町三日新聞で發賣してゐます一圓五十錢郵送料十二錢、本社でも御取次ぎ致ませう）

○初夏の氣候さなりました、諸先生様には如何御暮らし遊ばされますか處女の友が大へん盛んになつてまこさにうれしうあります。（島根縣簸川郡灘分村足立好美）

○處女の友毎號ありがたく拜見致して居ります、こんな爲になるよい本を一人でよんではさ思ひ、友達にすゝめました。雪子さんは目下福島縣郡山町片倉組製絲工場に居ります。萬事よろしく願ひます（野田あや子）△記者曰く度々おたよりありがさう

○鳥歌ひ花咲ふ時さなりました、先生始め誌友の皆様は御變りはありませんか、宮城縣登米郡のたかを様御手紙ありがさうこざいます。おやさしきおことばに胸が高鳴ります。淸い御交際をお願ひ致します。東京の百合子様もつさおふろひなさいませ（佐賀郡西與賀村今津深川ふみ子）

○毎號有益なことばかりかさある處女の友は農園生活の私には、無二の友でございます。「都にあこがれて」ほんさうに面白うございます。この先ごうなりませう、お君様に再會してごんなに嬉しかつたことでせう。「桃の花」は丁度わたしにお告げ下さつた様な氣がします。きつさ記者様の仰言る強く優しくまじめに働く女さなります。（熊本縣飽野しの子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○私は田園生活の美味を知らぬ處女ですの、何時も處女の友を唯一の友として諸姉樣の俤を浮べてお考ひして居りますの、「都にあこがれて」ほんとうに面白うございますどうなることでせう（香川縣三豐郡大野原村野田カツエ子）

○藥局に一人ポツチりとなる時にはうれしう一人でゆつくり拜讀致します。四月一日には發行ですが、何んと申しても、五島の田舍の事ですから、やう／＼十日もかゝります、記者樣も身體御大事に（長崎縣南松浦郡有川村梁瀨病院内谷川ふく子）

○「都にあこがれて」ほんとうに／＼胸とゞき／＼しました、あれから三人はどうなる事でせう、早く次號を出して下さいませ宮城のたかを樣なつかしい御言葉下さいましてうれしくてなりませんわ、私こそお交り下さいませな（福島縣信夫郡笹井村阿部きく子）

○私は土佐の田舍の處女でございます、私はみれ子さんに深く／＼同情致します、世の中に親が一人で定める結婚ほど私おそろしい事はないと考へます、大切な親の命とは言へ見知らぬ人の犠牲になつて結婚する人は悲しいでせう、たとへお金を百萬圓つみましても、本人の心がけ一つですみれ子さんの夫となる人は、どんな人でせうね（土佐小松とし子）

○長閑な春は山里に來ました、無心に囀る鳥の聲に誘はれ、野邊の若草に迎へられ、樂い田畑に働いて居ります、家に歸つてこの「處女の友」を讀むのを何よりの樂みとしてゐます（福島縣大沼郡藤川村兒島ゑい子）

○私は上州の片田舍に住む乙女でございます、御誌の御好評をきゝまして、今月から愛讀者になつたのでございます、先生どうぞこれからよろしく御導き下さいませ、和歌山の石井ゑい子樣おなつかしう存じます、記者樣はじめ皆樣これからよろしく（群馬縣新田郡九合村字東矢島對比地こう子）

○野山の風景もなんとなく、春めき渡つて心地よき時節となりました、あらゆる雜誌の中處女の友がなにより面白く又身の爲になります。召集令をよんで涙がこぼれました（福島縣猪苗村八木壽子）

○いつも御教訓下されうれしう存じます、處女の友は私の大の先生でございます（福島信夫郡笹井村阿部きく子）

（以下次號まわし）

四月號考へ物の答

四月號考へ物の題十四を三つに分けることゝいふ答は八と三と三との三つにわけますそれですからはさみ（鋏）と讀むのであります。くじびきで左の方々があたりました。

五月號は二十名の方に賞品をあげます。

○岐阜縣加茂郡東美館坂ノ東處女會員　笠井きぬえ
○熊本縣芦北郡津奈木村　鵜野しゑ
○廣島縣沼隈郡浦崎村　高橋コメカ
○福島縣石川郡山橋村　小室マスミ
○靜岡縣小笠郡倉眞村　原田ミサホ
○神奈川縣保土ケ谷工場　小日向カツエ
○兵庫縣多紀郡大芋村　桐山操
○長野縣諏訪郡平野村　長尾まつゑ

考へ物新題

往きは二人でかへりは一人になるものは何

〆切　五月十五日

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

◎編輯だより

○花の盛りは長からず、滿目清新やがて若葉を掠めてほとゝぎす聞く頃となりませう。皆樣の希望は新綠のように爽やかに、ほとゝぎすの聲のように、熱して居ることゝ思ひます。希望は、人を清新ならしめる要素です。いつでも元氣に若くなつて働きませう、歌ひませう。

○「處女之友」はこれからほんとうの皆樣の友達とも相談相手ともなります。近ごろ皆樣からいろ／＼御相談を受けますのがうれしいのです、親兄妹のつぎには、「この「處女の友」を信じて下さい。誌友は姉妹、理事の方には伯父叔母ですいや／＼もと／＼人は、皆姉弟同志でありますもの。すべてを打明けまじめにたのしくくらしませう

○影山勝樣東壽子さま増田よね子樣いろ／＼御骨折り感謝致します尙將來よろしく願ひ申ます・會長樣の寫眞をいたゞきたう御座います。御送り下さい。當會員(誌友)の寫眞の御送り下さいませ。

○嘉悅理事は先頃岐阜縣の處女會發會式に赴かれました。知事も見へられ非常に盛事の會だつたさうです。

○吉岡理事は、こんど御經營の女子醫學專門學校が文部省の指定學校となり、卒業生は無試驗で女醫になることになりましたのでその祝賀披露會を四月十八日帝國ホテルでお開きになりました。朝野の紳士俶女約五百餘名近來にない盛會でございました。女史二十年間の苦心が今日の御成功となつたのでございます。中央部の理事の關係から中央部は一入うれしうございます。

○天野理事は福島縣東白川郡の靑年大會に一週間ばかり赴かれた又栃木縣河内郡瑞穗野村淑女會にも講演されました。埼玉縣入間郡三芳村處女會もなか／＼いゝ成績であるさうです。(きみ子)

處女の友改正定價表

每月一回一日發行

定價	一部	半年分	一年分
定價	拾八錢	壹圓八錢	貳圓
郵税	五厘	不要	不要
合計	拾八錢五厘	壹圓八錢	貳圓

廣告料	一頁	半頁
特別面	貳拾五圓	
普通面	拾五圓	九圓

注意

◎御註文は總て前金の事、前金盡きたる節は封紙に「前金切」と捺印して通知に代ふ◎御送金は振替貯金が最も便利なり◎郵劵代用は一割增のこと◎外國行は郵稅實費を申受く

大正九年四月二十八日印刷納本
大正九年五月一日發行

東京市本郷區元町二ノ六六
發行人 印刷人 田所棉猪
編輯人 天野藤男

東京市麹町區紀尾井町三番地
發行所 處女會中央部

東京市京橋區弓町十二、三番地
印刷所 千代田印刷株式會社

東京市本郷區元町二ノ六六
處女の友發行所
電話小石川三一七四番
振替東京六一九〇番

大賣捌 東京堂、東海堂、北隆館、良明堂、至誠堂、上田屋、其他

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

これからの

日ヤケを防ぐには

効驗第一の

日ヤケを防ぎ――ツケればツケる程色白く美人となる

家庭化粧料

ホーカー液

定價
德大壹圓拾五錢
中五拾八錢小貳拾八錢
送料内地六錢

東京で大評判の化粧料

□ホーカー白粉
□ホーカーパット
□ホーカークリーム白粉
□ホーカー美髮液

東京神田和泉橋
ホーカー化粧品本舗
堀越嘉太郎商店
電話神田一四三、一四四、一四五
振替東京一五六

○御註文の節は、處女の友、の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

内務書記官田子一民先生著（最新刊）

米國に於ける禁酒之戰

◈定價金參拾錢　送料四錢

世界の驚異たる全米國の禁酒法案通過は現代に於ける最も注目すべき社會運動たり。著者曩に歐米を巡遊し、親しく米國に於ける禁酒運動の由來と其消長を究め、感慨禁ずる能はざるものあり、歸來自ら多年の嗜好たりし飲酒を斷ち敢て此一書を提供して同胞の反省に資せんとす、請ふ一讀あれ。

創刊十五年　地方振興　民力涵養の機關

斯民

五月號　一部一冊　錢　一年三圓六十錢

- 勞働問題解決の關鍵……大久保利武
- 時に關する國民的訓練と其施設……今井兼寛
- 實業補習學校の自治團制……石本堅
- ボルセヴヰズムの本領と其眞相……法博 水町袈裟六
- 國勢調査の說明……横山雅男
- 新講談 老農山居……天野雄彥
- 改造期の歐洲を巡歷して……湯川寛吉

北海道、東京、新潟、山口、東北各地地方會員諸氏の爲特に地方版を配布す

愛知縣立農林學校長 山崎延吉先生著

五版

婦人の覺醒

定價二十五錢　送料二錢

本書は婦人の天職を明かにし、其の自覺に資し、其の向上に後援せんが爲め、著者が滿腔の同情を以て著はされたる著なり。

發行所　東京市赤坂區溜池町三十一　中央報德會　振替東京九七〇〇

青年圖書

大久保四洲著

青年訓話 軍神乃木

著者の麗筆に依りて將軍の面目書中に躍出す

四六版三五〇頁 定價四拾錢 =送料四錢=

青年團員手牒

青年團員必携の信用狀▲總クロース和紙堅牢無比▲青年團中央部編纂 定價拾錢=送料三部迄貳錢

帝國青年の歌

豪壯の歌勇快の曲！▲青年團中央部選▲島崎東京音樂學校教授作曲 定價五錢=送料九部迄貳錢

青年團體操

器具不用且場所を要せず實行簡易 陸軍戸山學校選青年團中央部編纂 定價五錢=送料四部迄貳錢

緬羊の飼ひ方

青年團中央部農業主任和田稔新著 平明懇切總振假名付袖珍形頗美本 定價六拾五錢=送料四錢

青年團指導

青年團改善指導の標準書▲青年團中央部編纂▲菊判三百八十有餘頁 定價壹圓參拾錢=送料拾貳錢

趣味讀本 通俗文學

文部省普通學務局玉井廣平先生著 青年の娯樂用課外讀本として好適 定價七拾五錢=送料六錢

地方青年の教養

內務省監察官守屋榮夫先生著▲青年團員教養に關する新研究の發表 定價壹圓參拾錢=送料拾貳錢

東京市赤坂區溜池町三十一番地

帝國青年發行所

電話芝六二三三番 振替口座東京二一六八一番

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

賜天覽
台覽

内務省囑託 天野藤男著

好評六版

指導經營 研究美績 青年團及處女會

内容充實、趣味饒多
統計確實、識見卓拔

定價貳圓五拾錢
郵送料拾八錢

特色!!!!

青年團體及處女會の組織內容美績等正確なる材料を豐富なる觀察に基き趣味深き筆を以て縱横に描出せるもので、青年團體處女會には一日も缺くべからざる座右の寶典である

十一版

親愛なる農村青年へ

内務省囑託天野藤男著◎版を重ぬる十一版以て其の内容の如何を知るべし

四六版二百頁
定價六拾錢
郵送料六錢

東京市本郷區元町 **丙辰出版社** 振替東京三三三〇〇番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF ILLINOIS AT
URBANA-CHAMPAIGN

○御註文の節は處女の友の廣告に據る旨御書添へを乞ふ○

處女會中央部撰
葛原𦱳先生作歌

處女會中央部理事 天野藤男先生序
學習院教官 小松玉巖先生作曲

處女會のうた 野の幸

全國一齊に唱和せらるべき處女會の歌出づ

四六版三色刷
華麗無比の樂譜
定價金貳拾錢 送料二錢

處女會に限り下記の通り大割引可仕候

十冊以上五十冊未滿 定價の一割引
五十冊以上 定價の二割引

團體御申込は引換便にて至急御送附可仕特に送料及引換料の半額は弊社に於て負擔可仕候

十部以下の御注文はなるべく振替或は爲換にて御注文被下度候

東京神田仲猿樂町 合資會社 アルス 電話九段一三七七番 振替東京二四八八八番

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF ILLINOIS AT URBANA-CHAMPAIGN

大正七年十二月二十五日第三種郵便物認可
大正九年四月二十八日印刷納本
大正九年五月一日發行（毎月一回一日發行）

一部定價　金十八錢

東京市麹町區紀尾井町三番地
處女會中央部
東京市本郷區元町二ノ六六
處女之友發行所